

令和6年度

西海市各会計歳入歳出決算及び  
基金運用状況審査意見書

西海市監査委員





7 西海監第 20 号  
令和 7 年 8 月 18 日

西海市長 瀬川 光之 様

西海市監査委員  
西海市監査委員

平野 直幸  
杉山 誠治



令和 6 年度西海市各会計決算及び基金運用状況の審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項及び第 241 条第 5 項の規定により審査に付された  
令和 6 年度西海市各会計決算及び基金運用状況の審査を行ったので、その意見  
書を送付します。

## 目 次

1. 審査の対象	. . . . .	1
2. 審査の期間	. . . . .	1
3. 審査の方法	. . . . .	1
4. 審査の結果	. . . . .	1
決算総括	. . . . .	2
決算額の推移・財政力指数等	. . . . .	3
一般会計		
1. 決算の概要	. . . . .	4
(1) 決算規模		
2. 歳入について	. . . . .	4
(1) 歳入決算の概要		
(2) 財源別歳入状況		
(3) 款別歳入状況		
3. 歳出について	. . . . .	16
(1) 歳出決算の概要		
(2) 性質別歳出状況		
(3) 款別歳出状況		
特別会計		
国民健康保険特別会計（事業勘定）		
1. 決算の概要	. . . . .	26
(1) 歳入		
(2) 歳出		
国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）		
1. 決算の概要	. . . . .	30
(1) 歳入		
(2) 歳出		
後期高齢者医療特別会計		
1. 決算の概要	. . . . .	34
(1) 歳入		
(2) 歳出		
交通船特別会計		
1. 決算の概要	. . . . .	38
(1) 歳入		
(2) 歳出		
介護保険特別会計（保険事業勘定）		
1. 決算の概要	. . . . .	42
(1) 歳入		
(2) 歳出		
介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）		
1. 決算の概要	. . . . .	46
(1) 歳入		
(2) 歳出		

工業団地整備事業特別会計  
1. 決算の概要 . . . . . 50  
    (1) 歳入  
    (2) 歳出

財産に関する調書  
    一般会計 . . . . . 54  
    特別会計 . . . . . 57

む す び . . . . . 59

※この決算審査意見書中の構成比率の数値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合がある。

## 令和6年度西海市各会計歳入歳出決算審査意見書

### 1. 審査の対象

令和6年度西海市一般会計歳入歳出決算  
令和6年度西海市国民健康保険特別会計歳入歳出決算  
令和6年度西海市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算  
令和6年度西海市交通船特別会計歳入歳出決算  
令和6年度西海市介護保険特別会計歳入歳出決算  
令和6年度西海市工業団地整備事業特別会計歳入歳出決算

### 2. 審査の期間

令和7年7月1日から8月18日まで

### 3. 審査の方法

各会計の決算審査にあたっては、予算が適正かつ効率的に執行されているか、財政運営は健全か、自主財源は確保できているか等に加え、各課主要事業の事務が適正であるかに主眼を置き、送付を受けた各会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、その他付属資料について、関係諸帳簿と照合すると共に関係者からの説明聴取等を実施し、定期監査及び例月出納検査の結果も踏まえ、通常実施すべき審査手続きを実施した。

### 4. 審査の結果

審査に付された令和6年度各会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、法令に準拠して作成されており、決算計数は関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の係数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りのないものと認められた。

# 決算総括



令和6年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算額並びに執行状況については、図表1から図表3のとおりである。

図表1 令和6年度歳入歳出決算額

(単位：円・%)

会計別	予算現額	決算額		差引残額	執行率		
		収入済額	支出済額		収入	支出	
一般会計	23,712,763,000	23,286,514,145	22,149,886,365	1,136,627,780	98.2	93.4	
特別会計	国保(事業)	4,025,197,000	3,683,248,611	3,594,900,174	88,348,437	91.5	89.3
	国保(直診)	190,706,000	189,119,176	157,912,643	31,206,533	99.2	82.8
	後期高齢者医療	454,197,000	456,880,126	452,334,477	4,545,649	100.6	99.6
	交通船	147,466,000	142,832,316	141,007,101	1,825,215	96.9	95.6
	介護保険(事業)	3,893,744,000	3,812,016,132	3,745,979,542	66,036,590	97.9	96.2
	介護保険(サード)	17,907,000	18,699,650	15,575,498	3,124,152	104.4	87.0
	工業団地整備	209,667,000	209,695,330	209,665,910	29,420	100.0	100.0
	小計	8,938,884,000	8,512,491,341	8,317,375,345	195,115,996	95.2	93.0
合計	32,651,647,000	31,799,005,486	30,467,261,710	1,331,743,776	97.4	93.3	

図表2 執行状況(歳入)

(単位：円・%)

会計別	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
一般会計	23,712,763,000	23,468,057,547	23,286,514,145	4,764,948	176,778,454	99.2	
特別会計	国保(事業)	4,025,197,000	3,737,786,513	3,683,248,611	2,382,591	52,155,311	98.5
	国保(直診)	190,706,000	189,119,176	189,119,176	0	0	100.0
	後期高齢者医療	454,197,000	457,082,045	456,880,126	2,300	199,619	100.0
	交通船	147,466,000	142,832,316	142,832,316	0	0	100.0
	介護保険(事業)	3,893,744,000	3,815,809,031	3,812,016,132	375,196	3,417,703	99.9
	介護保険(サード)	17,907,000	18,699,650	18,699,650	0	0	100.0
	工業団地整備	209,667,000	209,695,330	209,695,330	0	0	100.0
	小計	8,938,884,000	8,571,024,061	8,512,491,341	2,760,087	55,772,633	99.3
合計	32,651,647,000	32,039,081,608	31,799,005,486	7,525,035	232,551,087	99.3	

図表3 執行状況(歳出)

(単位：円・%)

会計別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	
一般会計	23,712,763,000	22,149,886,365	614,087,000	948,789,635	95.9	
特別会計	国保(事業)	4,025,197,000	3,594,900,174	0	430,296,826	89.3
	国保(直診)	190,706,000	157,912,643	0	32,793,357	82.8
	後期高齢者医療	454,197,000	452,334,477	0	1,862,523	99.6
	交通船	147,466,000	141,007,101	0	6,458,899	95.6
	介護保険(事業)	3,893,744,000	3,745,979,542	0	147,764,458	96.2
	介護保険(サード)	17,907,000	15,575,498	0	2,331,502	87.0
	工業団地整備	209,667,000	209,665,910	0	1,090	100.0
	小計	8,938,884,000	8,317,375,345	0	621,508,655	93.0
合計	32,651,647,000	30,467,261,710	614,087,000	1,570,298,290	95.1	

令和2年度から令和6年度までの総計決算額は図表4のとおりである。



普通会計における財政力指数等は、図表5のとおりである

図表5 (決算統計による) (単位: 千円)

区 分	令和6年度	令和5年度
基準財政需要額	11,410,256	11,299,131
基準財政収入額	3,253,071	3,269,323
標準財政規模	12,233,527	12,156,390
財政力指数	0.29	0.29
経常収支比率	91.0 %	87.8 %
実質収支比率	7.23 %	8.14 %
実質公債費比率	1.7 %	0.7 %
公債費比率	-	-
債務負担行為を含む公債費比率	-	-
起債制限比率	-	-
基金現在高	17,569,074	17,352,850
地方債現在高	18,243,441	19,229,203
債務負担行為額 (R7年度以降の支出予定額)	3,349,136	3,822,174

※基金現在高は、土地開発基金及び長崎県証紙購買基金を除いた数値である。

# 一般会計



# 一 般 会 計

## 1. 決算の概要

### 決算規模

令和6年度における決算は、歳入総額 23,286,514,145 円、歳出総額 22,149,886,365 円で、歳入歳出差引額 1,136,627,780 円、翌年度へ繰越すべき財源 252,489,000 円を差引いた実質収支額は、884,138,780 円の黒字となっている。

## 2. 歳入について

### (1) 歳入決算の概要

歳入決算額の状況及び前年度との比較は図表6のとおりである。

本年度における歳入決算の状況は、予算現額 23,712,763,000 円に対し収入済額 23,286,514,145 円で、執行率 98.2%、調定額 23,468,057,547 円に対する収入率は 99.2% である。不納欠損額 4,764,948 円を計上し、収入未済額 176,778,454 円となっている。

また、前年度との比較においては、歳入総額で 720,386,238 円 (3.0%) の減少となっている。主なものでは繰入金、地方交付税、地方特例交付金が増加、及び市債、国庫支出金、県支出金が減少し、自動車取得税交付金が皆減で廃款となっている。

図表 6

区分	令和6年度							
	予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
市税	3,012,711,000	3,169,147,586	3,119,991,404	103.6	98.4	13.4	4,578,922	44,577,260
地方譲与税	236,803,000	236,803,223	236,803,223	100.0	100.0	1.0	0	0
利子割交付金	1,148,000	1,148,000	1,148,000	100.0	100.0	0.00	0	0
配当割交付金	12,983,000	12,983,000	12,983,000	100.0	100.0	0.06	0	0
株式等譲渡所得割交付金	19,517,000	19,517,000	19,517,000	100.0	100.0	0.08	0	0
法人事業税交付金	41,820,000	41,820,000	41,820,000	100.0	100.0	0.2	0	0
地方消費税交付金	654,159,000	654,159,000	654,159,000	100.0	100.0	2.8	0	0
ゴルフ場利用税交付金	30,090,000	30,090,900	30,090,900	100.0	100.0	0.13	0	0
環境性能割交付金	18,348,000	18,348,000	18,348,000	100.0	100.0	0.08	0	0
国有提供施設等所在市町村助成交付金	132,210,000	132,210,000	132,210,000	100.0	100.0	0.6	0	0
地方特例交付金	111,424,000	111,424,000	111,424,000	100.0	100.0	0.48	0	0
地方交付税	9,003,993,000	9,003,993,000	9,003,993,000	100.0	100.0	38.7	0	0
交通安全対策特別交付金	1,439,000	1,439,000	1,439,000	100.0	100.0	0.01	0	0
分担金及び負担金	77,135,000	86,163,421	76,533,353	99.2	88.8	0.3	0	9,630,068
使用料及び手数料	347,986,000	375,710,226	353,122,234	101.5	94.0	1.5	0	22,587,992
国庫支出金	3,091,405,000	2,873,910,709	2,873,910,709	93.0	100.0	12.3	0	0
県支出金	1,535,414,000	1,416,041,781	1,416,041,781	92.2	100.0	6.1	0	0
財産収入	131,013,000	217,400,734	142,392,597	108.7	65.5	0.6	0	75,008,137
寄附金	1,012,540,000	1,014,390,834	1,014,390,834	100.2	100.0	4.4	0	0
繰入金	1,370,039,000	1,369,038,244	1,369,038,244	99.9	100.0	5.9	0	0
繰越金	1,142,130,000	1,142,130,394	1,142,130,394	100.0	100.0	4.9	0	0
諸収入	176,756,000	223,488,495	198,327,472	112.2	88.7	0.9	186,026	24,974,997
市債	1,551,700,000	1,316,700,000	1,316,700,000	84.9	100.0	5.7	0	0
自動車取得税交付金	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	23,712,763,000	23,468,057,547	23,286,514,145	98.2	99.2	100.0	4,764,948	176,778,454

# 決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構 成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
3,057,426,000	3,176,346,839	3,124,217,954	102.2	98.4	13.0	5,221,246	46,907,639	△ 4,226,550	△ 0.1
233,156,000	233,156,445	233,156,445	100.0	100.0	1.0	0	0	3,646,778	1.6
700,000	700,000	700,000	100.0	100.0	0.0	0	0	448,000	64.0
8,754,000	8,754,000	8,754,000	100.0	100.0	0.0	0	0	4,229,000	48.3
10,920,000	10,920,000	10,920,000	100.0	100.0	0.1	0	0	8,597,000	78.7
39,952,000	39,952,000	39,952,000	100.0	100.0	0.2	0	0	1,868,000	4.7
651,919,000	651,919,000	651,919,000	100.0	100.0	2.7	0	0	2,240,000	0.3
31,018,000	31,018,225	31,018,225	100.0	100.0	0.1	0	0	△ 927,325	△ 3.0
15,531,000	15,531,000	15,531,000	100.0	100.0	0.1	0	0	2,817,000	18.1
134,660,000	134,660,000	134,660,000	100.0	100.0	0.6	0	0	△ 2,450,000	△ 1.8
15,657,000	15,657,000	15,657,000	100.0	100.0	0.1	0	0	95,767,000	611.7
8,868,471,000	8,868,471,000	8,868,471,000	100.0	100.0	36.9	0	0	135,522,000	1.5
1,601,000	1,601,000	1,601,000	100.0	100.0	0.0	0	0	△ 162,000	△ 10.1
71,436,000	75,735,772	61,350,579	85.9	81.0	0.3	0	14,385,193	15,182,774	24.7
360,249,000	388,251,932	364,086,280	101.1	93.8	1.5	0	24,165,652	△ 10,964,046	△ 3.0
4,043,754,000	3,189,965,475	3,189,965,475	78.9	100.0	13.3	0	0	△ 316,054,766	△ 9.9
1,745,595,000	1,660,002,794	1,660,002,794	95.1	100.0	6.9	0	0	△ 243,961,013	△ 14.7
146,164,000	229,218,357	153,471,433	105.0	67.0	0.6	0	75,746,924	△ 11,078,836	△ 7.2
955,305,000	952,991,192	952,991,192	99.8	100.0	4.0	0	0	61,399,642	6.4
1,174,632,000	1,174,344,471	1,174,344,471	100.0	100.0	4.9	0	0	194,693,773	16.6
1,361,705,000	1,361,705,371	1,361,705,371	100.0	100.0	5.7	0	0	△ 219,574,977	△ 16.1
180,355,000	251,412,907	229,276,154	127.1	91.2	1.0	0	22,136,753	△ 30,948,682	△ 13.5
2,005,500,000	1,722,500,000	1,722,500,000	85.9	100.0	7.2	0	0.0	△ 405,800,000	△ 23.6
649,000	649,010	649,010	100.0	100.0	0.0	0	0	△ 649,010	皆減
25,115,109,000	24,195,463,790	24,006,900,383	95.6	99.2	100	5,221,246	183,342,161	△ 720,386,238	△ 3.0

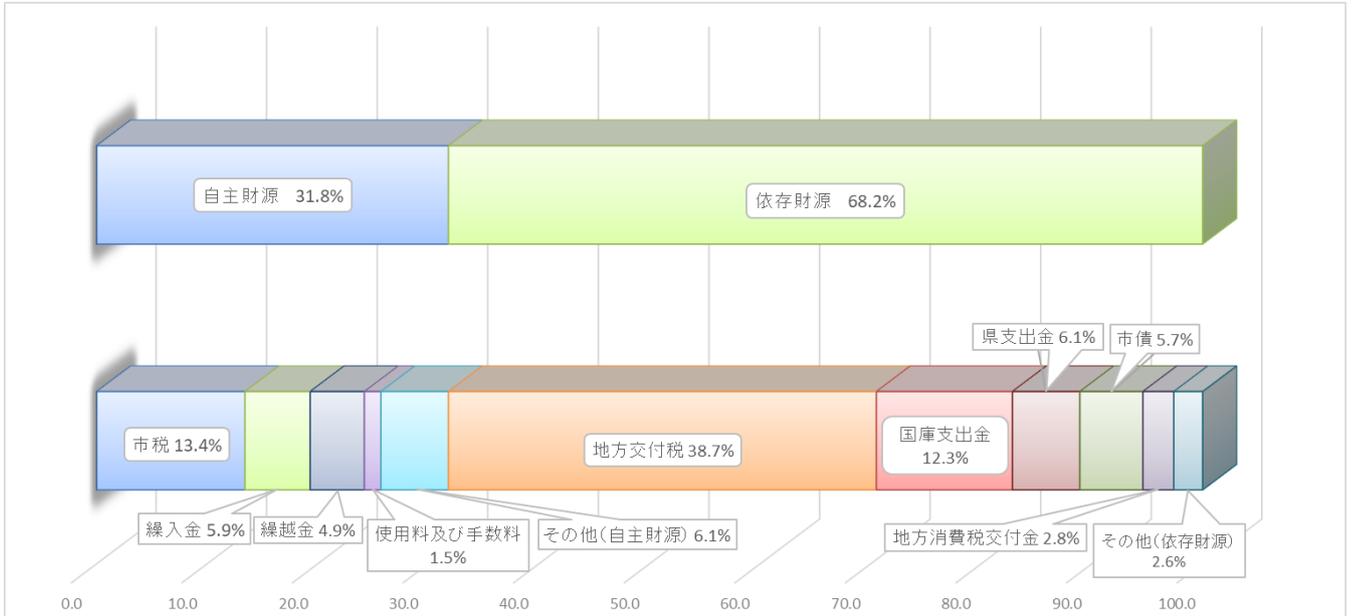
## (2) 財源別歳入状況

財源別歳入決算の状況は図表7及び図表8のとおりである。

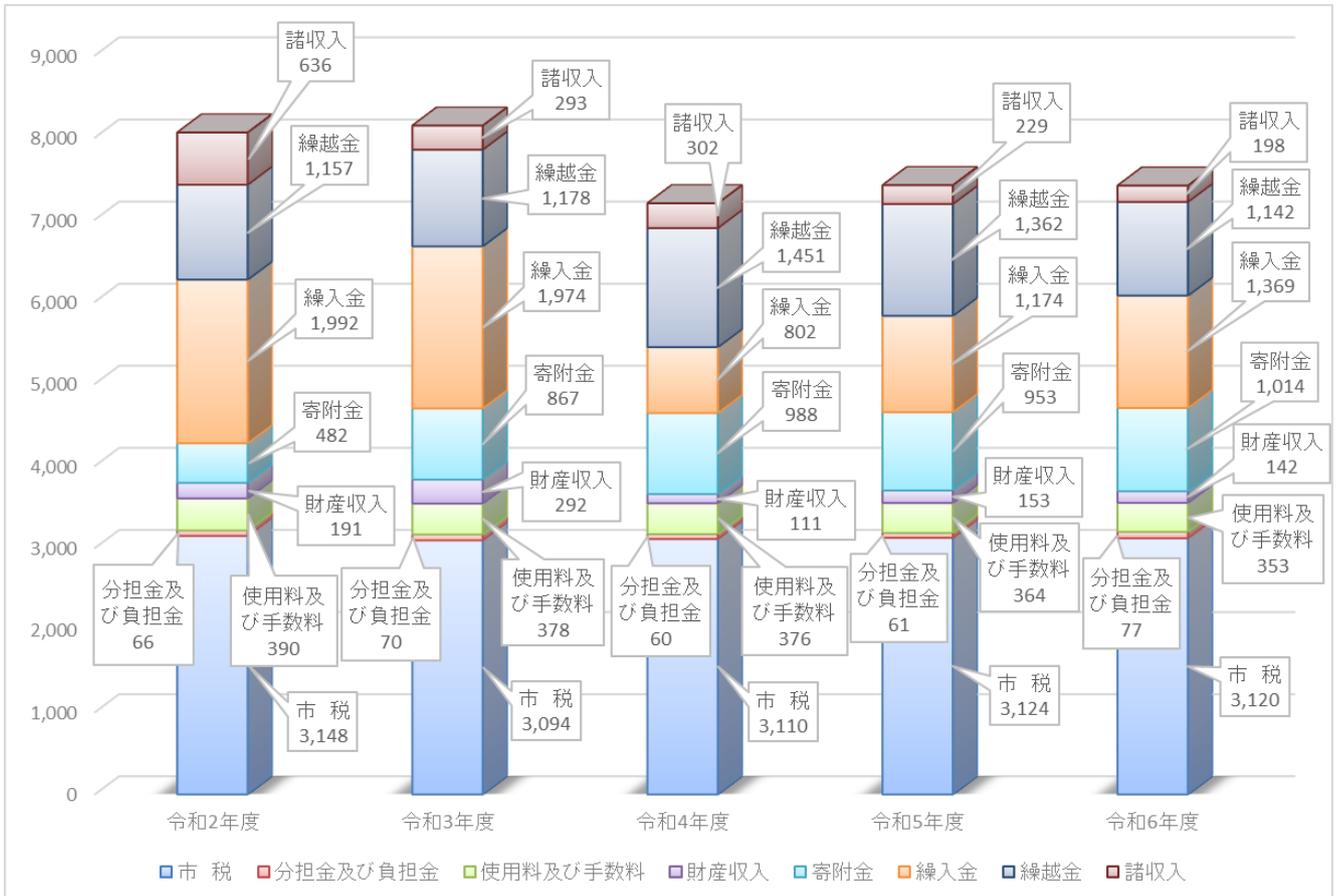
自主財源は、歳入全体に対して31.8%で、前年度との比較において構成比で0.9ポイント拡大し、金額で0.1%減少している。

依存財源は、歳入全体に対して68.2%で、前年度との比較において構成比で0.9ポイント縮小し、金額で4.3%減少している。

図表7 自主財源と依存財源



図表8 自主財源額の推移



※ 四捨五入のため各区分の額の合計が自主財源の合計額と合わない年度がある。

図表9 自主財源と依存財源

(単位：千円・%)

区 分		令和6年度		令和5年度		増減額	増減率
		決算額	構成比	決算額	構成比		
自主財源	市 税	3,119,991	42.1 13.4	3,124,218	42.1 13.0	△ 4,227	△ 0.1
	分 担 金 及 び 金	76,533	1.0 0.3	61,351	0.8 0.3	15,183	24.7
	使 用 料 及 び 料	353,122	4.8 1.5	364,086	4.9 1.5	△ 10,964	△ 3.0
	財 産 収 入	142,393	1.9 0.6	153,471	2.1 0.6	△ 11,079	△ 7.2
	寄 附 金	1,014,391	13.7 4.4	952,991	12.8 4.0	61,400	6.4
	繰 入 金	1,369,038	18.5 5.9	1,174,344	15.8 4.9	194,694	16.6
	繰 越 金	1,142,130	15.4 4.9	1,361,705	18.4 5.7	△ 219,575	△ 16.1
	諸 収 入	198,327	2.7 0.9	229,276	3.1 1.0	△ 30,949	△ 13.5
	計	7,415,926	100.0 31.8	7,421,443	100.0 30.9	△ 5,517	△ 0.1
	依存財源	地 方 譲 与 税	236,803	1.5 1.0	233,156	1.4 1.0	3,647
利 子 割 交 付 金		1,148	0.0 0.0	700	0.0 0.0	448	64.0
配 当 割 交 付 金		12,983	0.1 0.1	8,754	0.1 0.0	4,229	48.3
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金		19,517	0.1 0.1	10,920	0.1 0.1	8,597	78.7
法 人 事 業 税 交 付 金		41,820	0.2 0.2	39,952	0.2 0.2	1,868	4.7
地 方 消 費 税 金 交 付		654,159	4.1 2.8	651,919	3.9 2.7	2,240	0.3
ゴ ル フ 場 利 用 税 金 交 付		30,091	0.2 0.1	31,018	0.2 0.1	△ 927	△ 3.0
環 境 性 能 割 交 付 金		18,348	0.1 0.1	15,531	0.1 0.1	2,817	18.1
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金		132,210	0.8 0.6	134,660	0.8 0.6	△ 2,450	△ 1.8
地 方 特 例 交 付 金		111,424	0.7 0.5	15,657	0.1 0.1	95,767	611.7
地 方 交 付 税		9,003,993	56.7 38.7	8,868,471	53.5 36.9	135,522	1.5
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		1,439	0.0 0.0	1,601	0.0 0.0	△ 162	△ 10.1
国 庫 支 出 金		2,873,911	18.1 12.3	3,189,965	19.2 13.3	△ 316,055	△ 9.9
県 支 出 金		1,416,042	8.9 6.1	1,660,003	10.0 6.9	△ 243,961	△ 14.7
市 債		1,316,700	8.3 5.7	1,722,500	10.4 7.2	△ 405,800	△ 23.6
自 動 車 取 得 税 金 交 付		0	0.0 0.0	649	0.0 0.0	△ 649	皆減
計	15,870,588	100.0 68.2	16,585,457	100.0 69.1	△ 714,869	△ 4.3	
合 計	23,286,514		24,006,900		△ 720,386	△ 3.0	

※ 構成比欄の上段は財源別歳入計に対する構成比、下段は歳入総額に対する構成比を示す。  
 ※ 各財源別計欄は、各区分欄の額(単位：円)の合計につき、千円未満を四捨五入した数値である。

自主財源収入状況表

(単位：円・%)

区分	調定額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①
市税	3,169,147,586	3,119,991,404	98.4	4,578,922	0.1	44,577,260	1.4
分担金及び 負担金	86,163,421	76,533,353	88.8	0	0.0	9,630,068	11.2
使用料及び 手数料	375,710,226	353,122,234	94.0	0	0.0	22,587,992	6.0
財産収入	217,400,734	142,392,597	65.5	0	0.0	75,008,137	34.5
寄附金	1,014,390,834	1,014,390,834	100.0	0	0.0	0	0.0
繰入金	1,369,038,244	1,369,038,244	100.0	0	0.0	0	0.0
繰越金	1,142,130,394	1,142,130,394	100.0	0	0.0	0	0.0
諸収入	223,488,495	198,327,472	88.7	186,026	0.1	24,974,997	11.2
令和6年度 合計	7,597,469,934	7,415,926,532	97.6	4,764,948	0.1	176,778,454	2.3
参考：R5年度 合計	7,610,006,841	7,421,443,434	97.5	5,221,246	0.1	183,342,161	2.4

(3) 款別歳入状況

1 款 市税

調定額 3,169,147,586 円に対し収入済額 3,119,991,404 円で、対前年度比で 4,226,550 円、0.1%減少し、収入率は 98.4%で前年度と同率となっている。歳入全体に占める割合は 13.4%である。不納欠損額 4,578,922 円で収入未済額は 44,577,260 円となっている。

市税の収納状況

(単位：円・%)

区 分		令和 6 年度						
		調定額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①
市 民 税	現年度分	1,052,839,990	1,047,512,436	99.5	0	0.0	5,327,554	0.5
	過年度分	21,313,783	6,545,093	30.7	972,928	4.6	13,795,762	64.7
	小 計	1,074,153,773	1,054,057,529	98.1	972,928	0.1	19,123,316	1.8
固定資産税	現年度分	1,751,054,600	1,743,794,487	99.6	0	0.0	7,260,113	0.4
	過年度分	23,513,552	4,116,963	17.5	3,357,015	14.3	16,039,574	68.2
	小 計	1,774,568,152	1,747,911,450	98.5	3,357,015	0.2	23,299,687	1.3
軽自動車税	現年度分	125,364,700	124,663,230	99.4	0	0.0	701,470	0.6
	過年度分	2,160,189	458,423	21.2	248,979	11.5	1,452,787	67.3
	小 計	127,524,889	125,121,653	98.1	248,979	0.2	2,154,257	1.7
市たばこ税	現年度分	192,224,612	192,224,612	100.0	0	0.0	0	0.0
入 湯 税	現年度分	676,160	676,160	100.0	0	0.0	0	0.0
合 計	現年度分	3,122,160,062	3,108,870,925	99.6	0	0.0	13,289,137	0.4
	過年度分	46,987,524	11,120,479	23.7	4,578,922	9.7	31,288,123	66.6
	合 計	3,169,147,586	3,119,991,404	98.4	4,578,922	0.1	44,577,260	1.4

税目別の徴収状況は上記のとおりで、市税の決算額における現年課税分と滞納繰越分の状況は次のとおりとなっている。

現年課税分

調定額 3,122,160,062 円に対し、収入済額 3,108,870,925 円（収入率 99.6%）で不納欠損額 0 円（不納欠損率 0.0%）となっている。

滞納繰越分

調定額 46,987,524 円に対し、収入済額 11,120,479 円（収入率 23.7%）で不納欠損額 4,578,922 円（不納欠損率 9.7%）となっている。

なお、不納欠損の内容は次のとおりとなっている。

(単位：人・件・円)

区 分		個人市民税			法人市民税			固定資産税			軽自動車税			合 計		
		人数	件数	税額	人数	件数	税額	人数	件数	税額	人数	件数	税額	人数	件数	税額
地方税法	第15条の7第4項 執行停止3年経過	34	94	771,452	3	3	136,227	37	105	1,364,415	12	20	164,479	86	222	2,436,573
	第15条の7第5項 即時消滅等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第18条第1項 時効完成	6	24	65,249	0	0	0	23	121	1,992,600	11	11	84,500	40	156	2,142,349
	(うち、執行停止に係るもの)	6	24	65,249	0	0	0	23	121	1,992,600	10	10	82,500	39	155	2,140,349
合 計		40	118	836,701	3	3	136,227	60	226	3,357,015	23	31	248,979	126	378	4,578,922

## 2款 地方譲与税

調定額236,803,223円に対し収入済額236,803,223円で、収入率100.0%、対前年度比で3,646,778円、1.6%の増加となっている。歳入全体に占める割合は1.0%である。

## 3款 利子割交付金

調定額1,148,000円に対し収入済額1,148,000円で、収入率100.0%、対前年度比で448,000円、64.0%の増加となっている。歳入全体に占める割合は0.0%である。

## 4款 配当割交付金

調定額12,983,000円に対し収入済額12,983,000円で、収入率100.0%、対前年度比で4,229,000円、48.3%の増加となっている。歳入全体に占める割合は0.1%である。

## 5款 株式等譲渡所得割交付金

調定額19,517,000円に対し収入済額19,517,000円で、収入率100.0%、対前年度比で8,597,000円、78.7%の増加となっている。歳入全体に占める割合は0.1%である。

## 6款 法人事業税交付金

調定額41,820,000円に対し収入済額41,820,000円で、収入率100.0%、対前年度比で1,868,000円、4.7%の増加となっている。歳入全体に占める割合は0.2%である。

## 7款 地方消費税交付金

調定額654,159,000円に対し収入済額654,159,000円で、収入率100.0%、対前年度比で2,240,000円、0.3%の増加となっている。歳入全体に占める割合は2.8%である。

## 8款 ゴルフ場利用税交付金

調定額30,090,900円に対し収入済額30,090,900円で、収入率100.0%、対前年度比で927,325円、3.0%の減少となっている。歳入全体に占める割合は0.1%である。

## 9款 環境性能割交付金

調定額18,348,000円に対し収入済額18,348,000円で、収入率100.0%、対前年度比で2,817,000円、18.1%の増加となっている。歳入全体に占める割合は0.1%である。

## 10款 国有提供施設等所在市町村助成交付金

調定額132,210,000円に対し収入済額132,210,000円で、収入率100.0%、対前年度比で2,450,000円、1.8%の減少となっている。歳入全体に占める割合は0.6%である。

## 11款 地方特例交付金

調定額111,424,000円に対し収入済額111,424,000円で、収入率100.0%、対前年度比で95,767,000円、611.7%の増加となっている。歳入全体に占める割合は0.5%である。

## 12款 地方交付税

調定額9,003,993,000円に対し収入済額9,003,993,000円で、収入率100.0%、対前年度比で135,522,000円、1.5%の増加となっている。歳入全体に占める割合は38.7%である。

## 13款 交通安全対策特別交付金

調定額1,439,000円に対し収入済額1,439,000円で、収入率100.0%、対前年度比で162,000円、10.1%の減少となっている。歳入全体に占める割合は0.0%である。

## 14款 分担金及び負担金

調定額 86,163,421 円に対し収入済額 76,533,353 円で、収入率 88.8%、対前年度比で15,182,774 円、24.7%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.3%である。収入未済額は 9,630,068 円となっている。分担金及び負担金の内訳は次のとおりとなっている。

(単位：円・%)

区 分		令和6年度							
		調定額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①	
負 担 金	民生費負担金	老人福祉費負担金	24,292,604	24,172,604	99.5	0	0.0	120,000	0.5
		児童福祉費負担金	22,165,006	21,249,440	95.9	0	0.0	915,566	4.1
	衛生費負担金	保健衛生費負担金	329,750	329,750	100.0	0	0.0	0	0.0
		清掃費負担金	8,173,959	8,173,959	100.0	0	0.0	0	0.0
	農林水産業費負担金	農業費負担金	13,422,827	4,828,325	36.0	0	0.0	8,594,502	64.0
	小 計		68,384,146	58,754,078	85.9	0	0.0	9,630,068	14.1
分 担 金	農林水産業費分担金		7,138,275	7,138,275	100.0	0	0.0	0	0.0
	農林水産業費分担金（繰越明許）		10,641,000	10,641,000	100.0	0	0.0	0	0.0
	小 計		17,779,275	17,779,275	100.0	0	0.0	0	0.0
合 計		86,163,421	76,533,353	88.8	0	0.0	9,630,068	11.2	

### ・負担金

調定額 68,384,146 円に対し、収入済額 58,754,078 円（収入率 85.9%）となっている。

### ・分担金

調定額 17,779,275 円に対し、収入済額 17,779,275 円（収入率 100.0%）となっている。

## 15款 使用料及び手数料

調定額 375,710,226 円に対し収入済額 353,122,234 円で、収入率 94.0%、対前年度比で 10,964,046 円、3.0%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 1.5%である。収入未済額は 22,587,992 円となっている。

使用料及び手数料の内訳は次のとおりとなっている。

(単位：円・%)

区 分		令和6年度							
		調定額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①	
使 用 料	総務使用料	総務使用料	25,792,993	25,598,753	99.2	0	0.0	194,240	0.8
	民生使用料	児童福祉使用料	2,133,790	2,133,790	100.0	0	0.0	0	0.0
		社会福祉使用料	8,740	8,740	100.0	0	0.0	0	0.0
	衛生使用料	保健衛生使用料	5,873,430	5,873,430	100.0	0	0.0	0	0.0
	農林水産業使用料	農業使用料	521,731	521,731	100.0	0	0.0	0	0.0
		水産業使用料	2,509,157	2,509,157	100.0	0	0.0	0	0.0
		林業使用料	24,724	24,724	100.0	0	0.0	0	0.0
	商工使用料	商工使用料	2,406,341	1,072,808	44.6	0	0.0	1,333,533	55.4
		観光使用料	110,110	110,110	100.0	0	0.0	0	0.0
	土 木 使 用 料	道路橋梁使用料	3,556,366	3,556,366	100.0	0	0.0	0	0.0
		河川使用料	20,105	20,105	100.0	0	0.0	0	0.0
		港湾使用料	3,701,414	3,701,414	100.0	0	0.0	0	0.0
		公園使用料	1,100	1,100	100.0	0	0.0	0	0.0
		住宅使用料	262,634,796	241,911,587	92.1	0	0.0	20,723,209	7.9
	教 育 使 用 料	合併浄化槽使用料	7,015,394	6,678,084	95.2	0	0.0	337,310	4.8
		教育総務使用料	2,600	2,600	100.0	0	0.0	0	0.0
		小学校使用料	14,560	14,560	100.0	0	0.0	0	0.0
		中学校使用料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		幼稚園使用料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		社会教育使用料	2,372,612	2,372,612	100.0	0	0.0	0	0.0
	保健体育使用料	4,358,217	4,358,217	100.0	0	0.0	0	0.0	
小 計		323,058,180	300,469,888	93.0	0	0.0	22,588,292	7.0	
手 数 料	総務手数料	総務管理手数料	1,067,274	1,067,274	100.0	0	0.0	0	0.0
		徴税手数料	1,475,750	1,476,050	100.0	0	0.0	△ 300	0.0
		戸籍住民基本台帳手数料	11,207,700	11,207,700	100.0	0	0.0	0	0.0
	民生手数料	児童福祉手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		老人福祉手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	衛生手数料	保健衛生手数料	615,540	615,540	100.0	0	0.0	0	0.0
		清掃手数料	38,237,192	38,237,192	100.0	0	0.0	0	0.0
	農林水産業手数料	農業手数料	300	300	100.0	0	0.0	0	0.0
	土 木 手 数 料	道路橋梁手数料	10,200	10,200	100.0	0	0.0	0	0.0
		河川手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		港湾手数料	25,790	25,790	100.0	0	0.0	0	0.0
		住宅手数料	11,500	11,500	100.0	0	0.0	0	0.0
	教 育 手 数 料	教育総務手数料	800	800	100.0	0	0.0	0	0.0
		小学校手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		中学校手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		社会教育手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		保健体育手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
商工手数料	商工手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
小 計		52,652,046	52,652,346	100.0	0	0.0	△ 300	0.0	
合 計		375,710,226	353,122,234	94.0	0	0.0	22,587,992	6.0	

### ・使用料

調定額 323,058,180 円に対し、収入済額 300,469,888 円（収入率 93.0%）となっている。

・手数料

調定額 52,652,046 円に対し、収入済額 52,652,346 円（収入率 100.0%）となっている。  
 なお、調定額を上回っている収入額 300 円は、督促手数料の誤納付 3 件分である。

**16款 国庫支出金**

調定額2,873,910,709円に対し収入済額2,873,910,709円で、収入率100.0%、対前年度比  
 で 316,054,766円、9.9%の減少となっている。歳入全体に占める割合は12.3%である。

**17款 県支出金**

調定額1,416,041,781円に対し収入済額1,416,041,781円で、収入率100.0%、対前年度比  
 で 243,961,013円、14.7%の減少となっている。歳入全体に占める割合は6.1%である。

**18款 財産収入**

調定額217,400,734円に対し収入済額142,392,597円で、収入率65.5%、対前年度比で  
 11,078,836円、7.2%の減少となっている。歳入全体に占める割合は0.6%である。収入未  
 済額は75,008,137円となっている。

財産収入の内訳は次のとおりとなっている。

(単位：円・%)

区 分			令和6年度						
			調定額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①
財産運用収入	財産貸付収入	土地建物貸付収入	42,950,543	35,458,946	82.6	0	0.0	7,491,597	17.4
		物品貸付収入	88,177	88,177	100.0	0	0.0	0	0.0
	基金運用収入	利子及び配当金	62,158,016	62,158,016	100.0	0	0.0	0	0.0
		利子及び配当金	377,210	377,210	100.0	0	0.0	0	0.0
	小 計		105,573,946	98,082,349	92.9	0	0.0	7,491,597	7.1
財産売払収入	不動産売払収入	土地売払収入	18,591,955	18,591,955	100.0	0	0.0	0	0.0
		その他不動産売払収入	89,038,881	25,338,847	28.5	0	0.0	63,700,034	71.5
	物品売払収入	生産物売払収入	91,679	91,679	100.0	0	0.0	0	0.0
		物品売払収入	4,104,273	287,767	7.0	0	0.0	3,816,506	93.0
	小 計		111,826,788	44,310,248	39.6	0	0.0	67,516,540	60.4
合 計			217,400,734	142,392,597	65.5	0	0.0	75,008,137	34.5

・財産運用収入

調定額 105,573,946 円に対し、収入済額 98,082,349 円（収入率 92.9%）で、収入未  
 済額 7,491,597 円（収入未済率 7.1%）となっている。

・財産売払収入

調定額 111,826,788 円に対し、収入済額 44,310,248 円（収入率 39.6%）で、収入未  
 済額 67,516,540 円（収入未済率 60.4%）となっている。

## 19款 寄附金

調定額1,014,390,834円に対し収入済額1,014,390,834円で、収入率100.0%、対前年度比で 61,399,642円、6.4%の増加となっている。歳入全体に占める割合は4.4%である。

増加の主な要因は、一般寄付金が前年度と比較して50,050,000円増加し、指定寄付金のうち、「ふるさと西海応援寄付金」が952,842,000円で、前年度と比較して10,839,000円(1.2%)増加していることが挙げられる。

## 20款 繰入金

調定額1,369,038,244円に対し収入済額1,369,038,244円で、収入率100.0%、対前年度比で 194,693,773円、16.6%の増加となっている。歳入全体に占める割合は5.9%である。

内訳は、財政調整基金繰入金303,768,000円、減債基金繰入金27,500,000円、その他特定目的基金繰入金1,035,842,000円、国民健康保険特別会計(事業勘定)繰入金1,928,244円である。

## 21款 繰越金

調定額1,142,130,394円に対し収入済額1,142,130,394円で、収入率100.0%、対前年度比で 219,574,977円、16.1%の減少となっている。歳入全体に占める割合は4.9%である。

## 22款 諸収入

調定額223,488,495円に対し収入済額198,327,472円で、収入率88.7%、対前年度比で 30,948,682円、13.5%の減少となっている。歳入全体に占める割合は0.9%である。収入未済額は24,974,997円となっている。

内訳は、延滞金2,926,019円、遅延損害金350,796円、市預金利子4,757円、後期高齢者医療広域連合受託事業収入14,528,662円、実習指導受託事業収入11,000円、農業者年金事務受託事業収入924,900円、公社住宅管理受託事業収入4,407,770円、貸付金元利収入62,521,498円、弁償金2,384,020円、違約金及び延滞利息40,810円、雑入110,227,240円である。

## 23款 市債

調定額1,316,700,000円に対し収入済額1,316,700,000円で、収入率100.0%、対前年度比で 405,800,000円、23.6%の減少となっている。歳入全体に占める割合は5.7%である。

### 3. 歳出について

#### (1) 歳出決算の概要

歳出決算額の状況及び前年度との比較は図表10のとおりとなっている。

令和6年度一般会計歳出決算は、予算現額 23,712,763,000 円に対して、支出済額 22,149,886,365 円で、翌年度繰越額 614,087,000 円を計上し、執行率 93.4%、不用額 948,789,635 円となっている。

前年度比較において 714,883,624 円 (3.1%) の減となっている。

特に減少額が大きいものは、教育費 447,389,316 円 (19.2%減)、災害復旧費 329,025,160 円 (91.6%減)、衛生費 152,934,697 円 (5.4%減) である。

歳出の主なものを款別構成比順にみると次のとおりとなっている。

( ) 内は構成比を示す。

① 民生費	6,868,604 千円	(31.0%)
② 総務費	4,809,099 千円	(21.7%)
③ 衛生費	2,683,349 千円	(12.1%)
④ 公債費	2,361,521 千円	(10.7%)
⑤ 教育費	1,887,876 千円	(8.5%)
⑥ 土木費	1,157,305 千円	(5.2%)
⑦ 農林水産業費	906,573 千円	(4.1%)
⑧ 消防費	747,144 千円	(3.4%)
⑨ 商工費	455,488 千円	(2.1%)
⑩ 議会費	174,001 千円	(0.8%)

一般会計款別歳出

図表 10

区 分	令和 6 年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
議 会 費	181,522,000	174,000,970	95.9	0.8	0	7,521,030
総 務 費	5,325,900,000	4,809,099,323	90.3	21.7	277,605,000	239,195,677
民 生 費	7,355,289,000	6,868,603,791	93.4	31.0	70,136,000	416,549,209
衛 生 費	2,731,387,000	2,683,349,073	98.2	12.1	0	48,037,927
労 働 費	4,000	2,200	55.0	0.0	0	1,800
農 林 水 産 業 費	1,124,734,000	906,572,922	80.6	4.1	180,410,000	37,751,078
商 工 費	480,245,000	455,488,058	94.8	2.1	0	24,756,942
土 木 費	1,259,256,000	1,157,305,016	91.9	5.2	76,711,000	25,239,984
消 防 費	769,343,000	747,143,898	97.1	3.4	0	22,199,102
教 育 費	1,969,426,000	1,887,876,001	95.9	8.5	9,225,000	72,324,999
災 害 復 旧 費	35,084,000	30,218,100	86.1	0.1	0	4,865,900
公 債 費	2,361,867,000	2,361,521,013	100.0	10.7	0	345,987
諸 支 出 金	68,706,000	68,706,000	100.0	0.3	0	0
予 備 費	50,000,000	0	0.0	0.0	0	50,000,000
合 計	23,712,763,000	22,149,886,365	93.4	100.0	614,087,000	948,789,635

# 決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 5 年度					前年度比較		
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増 減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
178,103,000	174,040,463	97.7	0.8	0	4,062,537	△ 39,493	0.0
5,311,973,000	4,829,361,909	90.9	21.1	351,145,000	131,466,091	△ 20,262,586	△ 0.4
7,424,301,000	6,972,432,927	93.9	30.5	133,042,000	318,826,073	△ 103,829,136	△ 1.5
3,305,021,000	2,836,283,770	85.8	12.4	90,000,000	378,737,230	△ 152,934,697	△ 5.4
4,000	3,300	82.5	0.00	0	700	△ 1,100	△ 33.3
933,907,000	801,982,353	85.9	3.5	85,725,000	46,199,647	104,590,569	13.0
478,494,000	408,716,953	85.4	1.8	55,741,000	14,036,047	46,771,105	11.4
1,223,863,000	1,079,310,943	88.2	4.7	115,097,000	29,455,057	77,994,073	7.2
848,764,000	745,327,835	87.8	3.3	58,783,000	44,653,165	1,816,063	0.2
2,478,809,000	2,335,265,317	94.2	10.2	46,626,000	96,917,683	△ 447,389,316	△ 19.2
500,677,000	359,243,260	71.8	1.6	7,000,000	134,433,740	△ 329,025,160	△ 91.6
2,262,571,000	2,262,204,959	100.0	9.9	0	366,041	99,316,054	4.4
68,622,000	60,596,000	88.3	0.3	0	8,026,000	8,110,000	13.4
100,000,000	0	0.0	0.0	0	100,000,000	0	-
25,115,109,000	22,864,769,989	91.0	100.0	943,159,000	1,307,180,011	△ 714,883,624	△ 3.1

(2) 性質別歳出状況

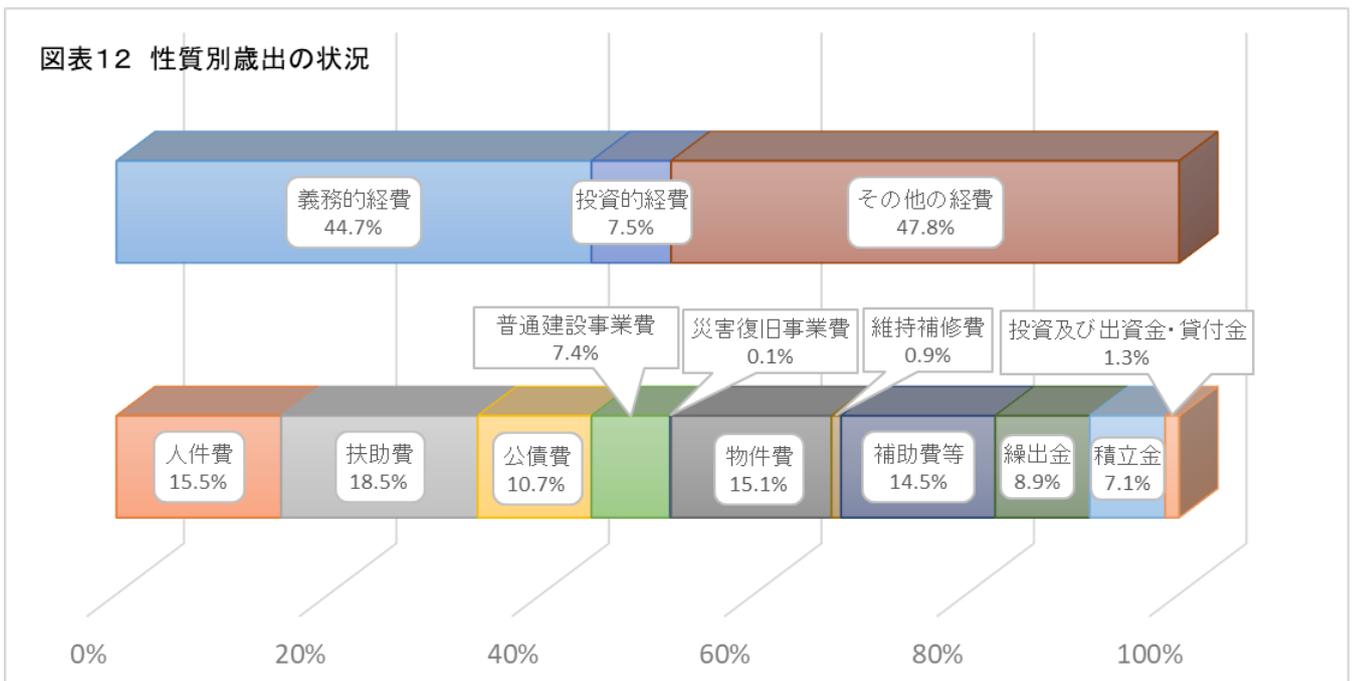
性質別歳出の状況は図表11のとおりである。

図表11 性質別歳出の状況

(単位：千円・%)

区 分		令和6年度		令和5年度		増減額	増減率
		決算額	構成比	決算額	構成比		
義務的経費	人件費	3,437,655	15.5	3,217,121	14.1	220,534	6.9
	扶助費	4,093,532	18.5	3,956,096	17.3	137,436	3.5
	公債費	2,361,521	10.7	2,262,205	9.9	99,316	4.4
	計	9,892,708	44.7	9,435,422	41.3	457,286	4.9
投資的経費	普通建設事業費	1,619,323	7.4	2,234,117	9.8	△ 614,794	△ 27.5
	災害復旧事業費	29,647	0.1	359,243	1.5	△ 329,596	△ 91.7
	計	1,648,970	7.4	2,593,360	11.3	△ 944,390	△ 36.4
その他の経費	物件費	3,354,318	15.1	3,401,025	14.9	△ 46,707	△ 1.4
	維持補修費	202,778	0.9	190,375	0.8	12,403	6.5
	補助費等	3,218,065	14.5	3,375,231	14.8	△ 157,166	△ 4.7
	繰出金	1,962,102	8.9	2,321,242	10.2	△ 359,140	△ 15.5
	積立金	1,582,424	7.1	1,196,152	5.2	386,272	32.3
	投資及び出資金・貸付金	288,521	1.3	351,963	1.5	△ 63,442	△ 18.0
	計	10,608,208	47.9	10,835,988	47.4	△ 227,780	△ 2.1
合 計		22,149,886	100.0	22,864,770	100.0	△ 714,884	△ 3.1

図表12 性質別歳出の状況



### (3) 款別歳出状況

#### 1款 議会費

予算現額 181,522,000 円に対して、支出済額 174,000,970 円で、執行率 95.9%、不用額 7,521,030 円となっている。歳出総額に占める割合は 0.8%である。前年度比較において 39,493 円 (0.0%未満) 減少している。

人件費を除く主な執行业は次のとおりである。

- ・ 政務活動費 1,985 千円

#### 2款 総務費

予算現額 5,325,900,000 円に対して、支出済額 4,809,099,323 円で、執行率 90.3%、翌年度繰越額 277,605,000 円を計上し、不用額 239,195,677 円となっている。歳出総額に占める割合は 21.7%である。前年度比較において 20,262,586 円 (0.4%) 減少している。

主な執行业は次のとおりである (人件費支出を主とする事業を除く)。

1 項 総務管理費	4,422,028 千円 (前年度 4,461,315 千円)	
・ 集会所等整備事業費補助金		15,180 千円
・ 庁舎建設整備基金積立金		200,007 千円
・ 交通政策費		95,182 千円
・ 新コミュニティ交通運行事業		45,702 千円
・ 過疎地域持続的発展基金積立金		80,804 千円
・ 移住定住促進事業		27,468 千円
・ 工業団地整備事業特別会計繰出金		205,736 千円
・ 脱炭素社会に向かうまち創造事業		9,400 千円
・ DX推進事業		15,324 千円
・ 生成AIによる生産性向上事業		10,784 千円
・ 定住政策推進事業		5,622 千円
・ (繰越明許) 電力・ガス・食料品等価格高騰支援事業 (3種計)		222,839 千円
・ 旧長崎オランダ村Cゾーン建物解体事業		12,700 千円
・ ふるさと西海応援寄附金事業		954,303 千円
翌年度繰越額 269,790 千円の内訳は次のとおりである。		
・ 庁舎等改修事業		57,681 千円
・ 支所旧庁舎解体事業		119,195 千円
・ 総合行政システム管理費		3,800 千円
・ 平島公共施設複合化整備事業		5,540 千円
・ 旧長崎オランダ村Cゾーン建物解体事業		83,574 千円
2 項 徴税費	195,036 千円 (前年度 192,704 千円)	
3 項 戸籍住民基本台帳費	126,979 千円 (前年度 106,359 千円)	
翌年度繰越額 7,815 千円の内訳は次のとおりである。		
・ 戸籍住民基本台帳一般管理費		7,815 千円
4 項 選挙費	42,456 千円 (前年度 46,576 千円)	
5 項 統計調査費	4,701 千円 (前年度 3,665 千円)	
6 項 監査委員費	17,899 千円 (前年度 18,743 千円)	

### 3 款 民生費

予算現額 7,355,289,000 円に対して、支出済額 6,868,603,791 円で、執行率 93.4%、翌年度繰越額 70,136,000 円を計上し、不用額 416,549,209 円となっている。歳出総額に占める割合は 31.0%である。前年度比較において 103,829,136 円（1.5%）減少している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

1 項 社会福祉費	3,503,460 千円（前年度 3,415,790 千円）	
・ 障害者自立支援給付事業		1,024,422 千円
・ 物価高騰対応重点支援事業（医療福祉サービス事業）（傷害・高齢計）	15,183 千円	
・ 西彼保健福祉センター改修事業		9,350 千円
翌年度繰越額 48,501 千円の内訳は次のとおりである。		
・ 住民税非課税世帯給付金事業（低所得世帯支援枠）		21,635 千円
2 項 児童福祉費	2,564,173 千円（前年度 2,472,044 千円）	
・ 子どものための教育・保育給付事業		1,276,800 千円
・ こども医療費助成事業（市単独・県補助分）		44,170 千円
3 項 生活保護費	800,638 千円（前年度 1,083,571 千円）	
翌年度繰越額 21,635 千円の内訳は次のとおりである。		
・ 地域介護・福祉空間整備事業等補助事業		48,501 千円
4 項 災害救助費	332 千円（前年度 1,027 千円）	

### 4 款 衛生費

予算現額 2,731,387,000 円に対して、支出済額 2,683,349,073 円で、執行率 98.2%、不用額 48,037,927 円となっている。歳出総額に占める割合は 12.1%である。前年度比較において 152,934,697 円（5.4%）減少している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

1 項 保健衛生費	729,019 千円（前年度 723,764 千円）	
・ 太陽光発電設備設置補助事業		8,780 千円
・ 出産・子育て応援事業		14,282 千円
・ 医療機関新規開設・承継補助事業（繰越分）		90,000 千円
・ 救急医療確保対策事業		7,600 千円
・ 物価高騰対応重点支援事業（医療福祉サービス事業）		6,035 千円
2 項 清掃費	827,893 千円（前年度 839,950 千円）	
・ 最終処分場整備事業		8,287 千円
3 項 上水道費	286,409 千円（前年度 433,515 千円）	
・ 上水道事業補助金（利子・元金・高料金対策分）		107,082 千円
4 項 下水道費	840,028 千円（前年度 839,054 千円）	
・ 下水道事業補助金		300,666 千円

### 5 款 労働費

予算現額 4,000 円に対して、支出済額 2,200 円で、執行率 55.0%、不用額 1,800 円となっている。歳出総額に占める割合は 0.1%未満である。前年度比較において 1,100 円（33.3%）

減少している。

## 6 款 農林水産業費

予算現額 1,124,734,000 円に対して、支出済額 906,572,922 円で、執行率 80.6%、翌年度繰越額 180,410,000 円を計上し、不用額 37,751,078 円となっている。歳出総額に占める割合は 4.1%である。前年度比較において 104,590,569 円（13.0%）増加している。

人件費を除く主な執行业は次のとおりである。

1 項 農業費	657,451 千円（前年度 603,079 千円）	
・畜産クラスター構築事業		111,704 千円
・西彼杵広域農道地すべり対策事業		60,300 千円
・鳥獣被害防止総合対策事業		26,703 千円
・面高地区農業競争力強化基盤整備事業（繰越分）		22,750 千円
・面高地区農業競争力強化基盤整備事業（現年度分）		16,748 千円
・ながさき鳥獣被害防止総合対策事業		16,617 千円
・多面的機能支払交付金事業		15,540 千円
・新たな就農者支援事業		15,032 千円
翌年度繰越額	161,410 千円の内訳は次のとおりである。	
・西彼杵広域農道地すべり対策事業		96,690 千円
・農業競争力強化基盤整備事業（白崎・小迎・面高 各地区計）		7,320 千円
・農業競争力強化基盤整備事業（R6国補正1号）（小迎・面高 各地区計）		46,250 千円
・農地海岸保全事業		1,250 千円
・農地海岸保全事業（R6国補正1号）		140 千円
・防災重点ため池災害対策事業（R6国補正1号）		1,760 千円
・施設園芸用燃油価格高騰緊急支援事業		8,000 千円
2 項 林業費	96,224 千円（前年度 93,951 千円）	
・未来につなぐ西海の森づくり事業		22,526 千円
・森林・林業戦略ブランブラッシュアップ事業 デシ油交付金（地方創生推進タイプ）		21,148 千円
3 項 水産業費	152,898 千円（前年度 104,953 千円）	
・漁業と漁村を支える人づくり事業		6,369 千円
・離島漁業再生支援交付金事業		5,806 千円
翌年度繰越額	19,000 千円の内訳は次のとおりである。	
・漁港施設車止め整備事業		19,000 千円

## 7 款 商工費

予算現額 480,245,000 円に対して、支出済額 455,488,058 円で、執行率 94.8%、不用額 24,756,942 円となっている。歳出総額に占める割合は 2.1%である。前年度比較において 46,771,105 円（11.4%）増加している。

人件費を除く主な執行业は次のとおりである。

1 項 商工費	455,488 千円（前年度 408,117 千円）	
・プレミアム付商品券発行支援事業（繰越分）		37,255 千円
・特産品ブランド力強化対策事業		32,295 千円
・西海ふるさと便事業		17,133 千円
・メディアやイベントを活用した魅力発信事業 デシ油交付金（地方創生推進タイプ）		12,613 千円

## 8款 土木費

予算現額 1,259,256,000 円に対して、支出済額 1,157,305,016 円で、執行率 91.9%、翌年度繰越額 76,711,000 円を計上し、不用額 25,239,984 円となっている。歳出総額に占める割合は 5.2%である。前年度比較において 77,994,073 円 (7.2%) 増加している。

人件費を除く主な執行业は次のとおりである。

1 項 土木管理費	202,981 千円 (前年度 205,519 千円)	
・ 一般市道等確定測量事業		12,781 千円
2 項 道路橋梁費	515,089 千円 (前年度 424,083 千円)	
・ 市道雪浦平坦線橋梁撤去事業		101,177 千円
・ 市道雪浦平坦線橋梁撤去事業 (繰越分)		38,889 千円
翌年度繰越額	9,711 千円の内訳は次のとおりである。	
・ 市道喰場線道路拡幅事業		9,711 千円
3 項 河川費	124,395 千円 (前年度 99,506 千円)	
・ 高地 (3) 地区急傾斜地崩壊対策事業 (繰越分)		67,907 千円
翌年度繰越額	67,000 千円の内訳は次のとおりである。	
・ 高地 (3) 地区急傾斜地崩壊対策事業		67,000 千円
4 項 港湾費	61,891 千円 (前年度 30,863 千円)	
5 項 都市計画費	9,203 千円 (前年度 3,493 千円)	
6 項 住宅費	243,747 千円 (前年度 315,846 千円)	
・ 公営住宅等長寿命化計画策定事業		11,319 千円
・ 住宅性能向上リフォーム等支援事業		3,489 千円
・ 特定空き家等除却事業		3,473 千円
・ 危険空き建築物除却支援事業		3,469 千円

## 9款 消防費

予算現額 769,343,000 円に対して、支出済額 747,143,898 円で、執行率 97.1%、不用額 22,199,102 円となっている。歳出総額に占める割合は 3.4%である。前年度比較において 1,816,063 円 (0.2%) 増加している。

人件費を除く主な執行业は次のとおりである。

1 項 消防費	747,144 千円 (前年度 745,328 千円)	
・ 消防施設整備事業		57,156 千円
・ 消防施設整備事業 (繰越分)		56,830 千円
・ 小型動力ポンプ付積載車等購入事業		22,444 千円
・ 消防水利整備事業		21,403 千円

## 10 款 教育費

予算現額 1,969,426,000 円に対して、支出済額 1,887,876,001 円で、執行率 95.9%、翌年度繰越額 9,225,000 円を計上し、不用額 72,324,999 円となっている。歳出総額に占める割合は 8.5%である。前年度比較において 447,389,316 円（19.2%）減少している。

人件費を除く主な執行业は次のとおりである。

1 項 教育総務費	545,497 千円（前年度 393,731 千円）	
・市内高等学校魅力向上支援事業		22,152 千円
・西海地区スクールバス購入事業		35,854 千円
・スクールバス運行业（西彼地区・西海地区 合計）		53,824 千円
2 項 小学校費	268,957 千円（前年度 346,649 千円）	
・小中学校施設長寿命化計画策定事業		13,512 千円
・G I G Aスクール構想推進事業（小学校分）		6,230 千円
3 項 中学校費	293,938 千円（前年度 699,002 千円）	
・大瀬戸中学校施設整備事業		68,816 千円
・大瀬戸中学校施設整備事業（繰越）		44,234 千円
・中学校通学費補助事業		27,329 千円
・G I G Aスクール構想推進事業（中学校分）		3,808 千円
4 項 社会教育費	331,817 千円（前年度 386,451 千円）	
・多以良地区公民館改修事業		32,051 千円
・西彼杵半島石鍋製作遺跡保護事業		2,720 千円
翌年度繰越額	9,225 千円の内訳は次のとおりである。	
・西彼教育文化センター施設整備事業		7,880 千円
・雪浦地区公民館改修事業		1,345 千円
5 項 保健体育費	447,667 千円（前年度 509,431 千円）	
・青少年スポーツ振興事業		68,507 千円
・大瀬戸総合運動公園遊具更新事業		11,205 千円
・学校給食物価高騰対策食材費補助事業		9,729 千円

## 11 款 災害復旧費

予算現額 35,084,000 円に対して、支出済額 30,218,100 円で、執行率 86.1%、不用額 4,865,900 円となっている。歳出総額に占める割合は 0.1%である。前年度比較において 329,025,160 円（91.6%）減少している。

人件費を除く主な執行业は次のとおりである。

1 項 農林水産施設災害復旧費	30,218 千円（前年度 359,236 千円）	
・林道施設災害復旧事業（応急処置分）		13,312 千円
・農業用施設災害復旧事業（応急処置分）		12,610 千円
2 項 公共土木施設災害復旧費	支出なし（前年度 7 千円）	

## 12 款 公債費

予算現額 2,361,867,000 円に対して、支出済額 2,361,521,013 円で、執行率 100.0%、不用額 345,987 円となっている。歳出総額に占める割合は 10.7%である。前年度比較において 99,316,054 円（4.4%）増加している。

1 項 公債費 2,361,521 千円（前年度 2,262,205 千円）

- ・市債元金償還金 2,302,462 千円
- ・市債利子償還金 59,040 千円

公債費比率等の推移は図表 1 3 のとおりとなっている。

図表 1 3 決算状況の推移

(単位:千円)

区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
歳 入 総 額	28,644,844	26,157,433	24,433,543	24,006,900	23,286,514
歳 出 総 額	27,465,979	24,706,421	23,071,838	22,864,770	22,149,886
実質公債費比率	△2.8%	△1.8%	△0.9%	0.7%	1.7%
公債費比率	-	-	-	-	-
債務負担行為を 含む公債費比率	-	-	-	-	-
起債制限比率	-	-	-	-	-
基金現在高	15,748,550	16,431,927	17,329,382	17,352,850	17,569,074
地方債現在高	20,616,442	19,801,527	19,719,363	19,229,203	18,243,441
経常収支比率	83.6%	83.9%	85.6%	87.8%	91.0%
実質収支比率	6.79%	9.54%	8.73%	8.14%	7.23%

※基金現在高は、土地開発基金及び長崎県証紙購買基金を除いた数値である。

## 13 款 諸支出金

予算現額 68,706,000 円に対して、支出済額 68,706,000 円で、執行率 100.0%、不用額は 0 円となっている。歳出総額に占める割合は 0.3%である。前年度比較において 8,110,000 円（13.4%）増加している。

1 項 公営企業費 68,706 千円（前年度 60,596 千円）

- ・交通船特別会計繰出金 68,706 千円

# 特 別 会 計



## 特別会計の種類

国民健康保険特別会計  
後期高齢者医療特別会計  
交通船特別会計  
介護保険特別会計  
工業団地整備事業特別会計

## 国民健康保険特別会計（事業勘定）

区 分	令和6年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
国民健康保険税	524,063,000	611,202,327	558,629,216	106.6	91.4	15.2	2,382,591	50,190,520
使用料及び手数料	37,000	21,750	21,950	59.3	100.9	0.0	0	△ 200
国庫支出金	3,316,000	3,841,000	3,841,000	115.8	100.0	0.1	0	0
県支出金	3,056,957,000	2,709,298,843	2,709,298,843	88.6	100.0	73.6	0	0
連合会支出金	1,000	0	0	0.0	-	0.0	0	0
財産収入	4,000	264,549	264,549	6613.7	100.0	0.0	0	0
繰入金	382,506,000	353,474,142	353,474,142	92.4	100.0	9.6	0	0
繰越金	50,291,000	50,291,130	50,291,130	100.0	100.0	1.4	0	0
諸収入	8,021,000	9,392,772	7,427,781	92.6	79.1	0.2	0	1,964,991
市債	1,000	0	0	0.0	-	0.0	0	0
合 計	4,025,197,000	3,737,786,513	3,683,248,611	91.5	98.5	100.0	2,382,591	52,155,311

## 国民健康保険特別会計（事業勘定）

### 1. 決算の概要

令和6年度における決算は歳入総額 3,683,248,611 円、歳出総額 3,594,900,174 円で、歳入歳出差引残額 88,348,437 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 88,348,437 円の黒字となっている。

#### (1) 歳 入

令和6年度歳入決算は、予算現額 4,025,197,000 円、調定額 3,737,786,513 円に対し収入済額 3,683,248,611 円で、収入率 98.5%、対前年度比で 196,886,294 円、5.1%の減少となっている。不納欠損額 2,382,591 円を計上し、収入未済額は 52,155,311 円となっている。

国保税収入で、不納欠損額 2,382,591 円を計上し、収入未済額は 50,190,520 円となっており、内訳は、現年課税分調定額 557,274,100 円に対し収入済額 546,692,550 円、滞納繰越分調定額 53,928,227 円に対し収入済額 11,936,666 円となっている。

繰入金においては、保険基盤安定繰入金及び財政安定化支援事業繰入金など一般会計から 253,474,142 円が繰入れられている。

款別歳入決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構 成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
547,146,000	653,192,771	596,338,369	109.0	91.3	15.4	3,459,623	53,394,779	△ 37,709,153	△ 6.3
103,000	112,000	112,000	108.7	100.0	0.0	0	0	△ 90,050	△ 80.4
52,000	58,000	58,000	111.5	-	0.0	0	0	3,783,000	6522.4
3,045,796,000	2,914,106,650	2,914,106,650	95.7	100.0	75.1	0	0	△ 204,807,807	△ 7.0
1,000	0	0	0.0	-	0.0	0	0	0	-
4,000	4,550	4,550	113.8	100.0	0.0	0	0	259,999	5714.3
313,385,000	260,864,686	260,864,686	83.2	100.0	6.7	0	0	92,609,456	35.5
101,386,000	101,386,838	101,386,838	100.0	100.0	2.6	0	0	△ 51,095,708	△ 50.4
8,021,000	8,074,241	7,263,812	90.6	90.0	0.2	0	810,429	163,969	2.3
1,000	0	0	0.0	-	0.0	0	0	0	-
4,015,895,000	3,937,799,736	3,880,134,905	96.6	98.5	100.0	3,459,623	54,205,208	△ 196,886,294	△ 5.1

なお、不納欠損の内容は次のとおりとなっている。

(単位：人・件・円)

区 分			国民健康保険税		
			人数	件数	税額
地方 税法	第15条の7第4項	執行停止3年経過	14	87	1,911,791
	第15条の7第5項	即時消滅等	0	0	0
	第18条第1項	時効完成	12	38	470,800
		(うち、執行停止に係るもの)	12	38	470,800
合 計			26	125	2,382,591

## 国民健康保険特別会計（事業勘定）

区 分	令和6年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
総 務 費	44,860,000	38,844,733	86.6	1.1	0	6,015,267
保 険 給 付 費	2,938,012,000	2,563,547,240	87.3	71.3	0	374,464,760
国民健康保険事業費納付金	867,915,000	867,912,989	100.0	24.1	0	2,011
共 同 事 業 拠 出 金	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
財政安定化基金拠出金	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
保 健 事 業 費	61,012,000	42,193,060	69.2	1.2	0	18,818,940
基 金 積 立 金	23,829,000	23,829,000	100.0	0.7	0	0
公 債 費	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
諸 支 出 金	60,153,000	58,573,152	97.4	1.6	0	1,579,848
予 備 費	29,413,000	0	0.0	0.0	0	29,413,000
合 計	4,025,197,000	3,594,900,174	89.3	100.0	0	430,296,826

### （2）歳 出

令和6年度歳出決算は、予算現額 4,025,197,000 円に対して、支出済額 3,594,900,174 円で、執行率 89.3%、不用額 430,296,826 円となっている。前年度比較において 234,943,601 円（6.1%）減少している。

#### 1 款 総務費

予算現額 44,860,000 円に対して、支出済額 38,844,733 円で、執行率 86.6%、不用額 6,015,267 円となっている。前年度比較において 756,116 円（2.0%）増加している。

#### 2 款 保険給付費

予算現額 2,938,012,000 円に対して、支出済額 2,563,547,240 円で、執行率 87.3%、不用額 374,464,760 円となっている。前年度比較において 243,783,396 円（8.7%）減少している。

#### 3 款 国民健康保険事業費納付金

予算現額 867,915,000 円に対して、支出済額 867,912,989 円で、執行率 100.0%、不用額 2,011 円となっている。前年度比較において 30,237,028 円（3.6%）増加している。

## 款別歳出決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度					前年度比較		
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増 減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
41,995,000	38,088,617	90.7	1.0	0	3,906,383	756,116	2.0
2,913,511,000	2,807,330,636	96.4	73.3	0	106,180,364	△ 243,783,396	△ 8.7
867,087,000	837,675,961	96.6	21.9	0	29,411,039	30,237,028	3.6
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	-
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	-
58,609,000	41,747,120	71.2	1.1	0	16,861,880	445,940	1.1
48,055,000	48,055,000	100.0	1.3	0	0	△ 24,226,000	△ 50.4
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	-
58,189,000	56,946,441	97.9	1.5	0	1,242,559	1,626,711	2.9
28,446,000	0	0.0	0.0	0	28,446,000	0	-
4,015,895,000	3,829,843,775	95.4	100.0	0	186,051,225	△ 234,943,601	△ 6.1

### 6 款 保健事業費

予算現額 61,012,000 円に対して、支出済額 42,193,060 円で、執行率 69.2%、不用額 18,818,940 円となっている。前年度比較において 445,940 円 (1.1%) 増加している。

### 7 款 基金積立金

予算現額 23,829,000 円に対して、支出済額 23,829,000 円で、執行率 100.0%、不用額 0 円となっている。前年度比較において 24,226,000 円 (50.4%) 減少している。

・ 財政調整基金積立金 23,829 千円

### 9 款 諸支出金

予算現額 60,153,000 円に対して、支出済額 58,573,152 円で、執行率 97.4%、不用額 1,579,848 円となっている。前年度比較において 1,626,711 円 (2.9%) 増加している。

## 国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）

区 分	令和6年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
診 療 収 入	27,678,000	25,815,113	25,815,113	93.3	100.0	13.7	0	0
使 用 料 及 び 手 数 料	1,343,000	1,522,794	1,522,794	113.4	100.0	0.8	0	0
県 支 出 金	-	-	-	-	-	-	-	-
繰 入 金	122,778,000	122,506,837	122,506,837	99.8	100.0	64.8	0	0
繰 越 金	32,942,000	32,943,563	32,943,563	100.0	100.0	17.4	0	0
諸 収 入	2,765,000	3,130,869	3,130,869	113.2	100.0	1.7	0	0
市 債	3,200,000	3,200,000	3,200,000	100.0	100.0	1.7	0	0
合 計	190,706,000	189,119,176	189,119,176	99.2	100.0	100.0	0	0

## 国民健康保険特別会計（直診勘定）

### 1. 決算の概要

令和6年度における決算は、歳入総額 189,119,176 円、歳出総額 157,912,643 円で、歳入歳出差引残額 31,206,533 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 31,206,533 円の黒字となっている。

#### (1) 歳 入

令和6年度歳入決算は、予算現額 190,706,000 円、調定額 189,119,176 円に対し収入済額 189,119,176 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 3,152,448 円、1.7%の増加となっている。不納欠損額はない。

#### 1 款 診療収入

調定額 25,815,113 円に対し収入済額 25,815,113 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 4,555,731 円、15.0%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 13.7%である。

#### 2 款 使用料及び手数料

調定額 1,522,794 円に対し収入済額 1,522,794 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 78,050 円、5.4%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.8%である。

#### 3 款 県支出金

令和6年度は予算計上が無く、前年度比で皆減である。

#### 4 款 繰入金

調定額 122,506,837 円に対し収入済額 122,506,837 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 14,357,071 円、13.3%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 64.8%である。

- ・ 一般会計繰入金 75,086 千円
- ・ 事業勘定繰入金 47,421 千円

## 款別歳入決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構 成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
34,123,000	30,370,844	30,370,844	89.0	100.0	16.3	0	0	△ 4,555,731	△ 15.0
1,582,000	1,444,744	1,444,744	91.3	100.0	0.8	0	0	78,050	5.4
3,456,000	3,456,000	3,456,000	100.0	100.0	1.9	0	0	皆減	皆減
108,736,000	108,149,766	108,149,766	99.5	100.0	58.2	0	0	14,357,071	13.3
35,170,000	35,172,608	35,172,608	100.0	100.0	18.9	0	0	△ 2,229,045	△ 6.3
2,744,000	3,172,766	3,172,766	115.6	100.0	1.7	0	0	△ 41,897	△ 1.3
4,200,000	4,200,000	4,200,000	100.0	100.0	2.3	0	0	△ 1,000,000	△ 23.8
190,011,000	185,966,728	185,966,728	97.9	100.0	100.0	0	0	3,152,448	1.7

### 5款 繰越金

調定額 32,943,563 円に対し収入済額 32,943,563 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 2,229,045 円、6.3%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 17.4%である。

### 6款 諸収入

調定額 3,130,869 円に対し収入済額 3,130,869 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 41,897 円、1.3%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 1.7%である。

### 7款 市債

調定額 3,200,000 円に対し収入済額 3,200,000 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 1,000,000 円、23.8%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 1.7%である。

## 国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）

区 分	令和6年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
総 務 費	143,572,000	130,122,737	90.6	82.4	0	13,449,263
医 業 費	34,077,000	15,744,386	46.2	10.0	0	18,332,614
公 債 費	8,063,000	8,052,520	99.9	5.1	0	10,480
施 設 整 備 費	3,994,000	3,993,000	100.0	2.5	0	1,000
予 備 費	1,000,000	0	0.0	0.0	0	1,000,000
合 計	190,706,000	157,912,643	82.8	100.0	0	32,793,357

### （2）歳 出

令和6年度歳出決算は、予算現額 190,706,000 円に対して、支出済額 157,912,643 円で、執行率 82.8%、不用額 32,793,357 円となっている。前年度比較において 4,889,478 円（3.2%）増加している。

#### 1 款 総務費

予算現額 143,572,000 円に対して、支出済額 130,122,737 円で、執行率 90.6%、不用額 13,449,263 円となっている。前年度比較において 9,460,274 円（7.8%）増加している。

#### 2 款 医業費

予算現額 34,077,000 円に対して、支出済額 15,744,386 円で、執行率 46.2%、不用額 18,332,614 円となっている。前年度比較において 8,335,626 円（34.6%）減少している。

- ・医薬品衛生材料費 12,046 千円
- ・医療用機械器具費 1,713 千円
- ・医療用消耗器材費 1,502 千円

#### 3 款 公債費

予算現額 8,063,000 円に対して、支出済額 8,052,520 円で、執行率 99.9%、不用額 10,480 円となっている。前年度比較において 228,170 円（2.8%）減少している。

#### 4 款 施設整備費

予算現額 3,994,000 円に対して、支出済額 3,993,000 円で、執行率 100.0%、不用額 1,000 円となっている。前年度比較で皆増である。

- ・松島診療所医師住宅建替工事設計業務委託料 3,393 千円

# 款別歳出決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増 減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
137,823,000	120,662,463	87.5	78.9	0	17,160,537	9,460,274	7.8
42,897,000	24,080,012	56.1	15.7	0	18,816,988	△ 8,335,626	△ 34.6
8,290,000	8,280,690	99.9	5.4	0	9,310	△ 228,170	△ 2.8
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	3,993,000	皆増
1,000,000	0	0.0	0.0	0	1,000,000	0	0.0
190,011,000	153,023,165	80.5	100.0	0	36,987,835	4,889,478	3.2

後期高齢者医療特別会計

区 分	令和6年度							
	予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
後期高齢者医療保険料	295,821,000	299,300,495	299,098,576	101.1	99.9	65.5	2,300	199,619
使用料及び手数料	1,000	8,000	8,000	800.0	100.0	0.0	0	0
繰入金	154,766,000	154,160,291	154,160,291	99.6	100.0	33.7	0	0
繰越金	2,329,000	2,329,039	2,329,039	100.0	100.0	0.5	0	0
諸収入	1,280,000	1,284,220	1,284,220	100.3	100.0	0.3	0	0
合計	454,197,000	457,082,045	456,880,126	100.6	100.0	100.0	2,300	199,619

後期高齢者医療特別会計

1. 決算の概要

令和6年度における決算は、歳入総額 456,880,126 円、歳出総額 452,334,477 円で、歳入歳出差引残額 4,545,649 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 4,545,649 円の黒字となっている。

(1) 歳入

令和6年度歳入決算は、予算現額 454,197,000 円、調定額 457,082,045 円に対し収入済額 456,880,126 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 49,710,365 円、12.2%の増加となっている。不納欠損額 2,300 円を計上し、収入未済額は 199,619 円となっている。

1 款 後期高齢者医療保険料

調定額 299,300,495 円に対し収入済額 299,098,576 円で、収入率 99.9%、対前年度比で 35,480,261 円、13.5%の増加となっている。不納欠損額 2,300 円を計上し、収入未済額は 199,619 円となっている。歳入全体に占める割合は 65.5%である。

2 款 使用料及び手数料

調定額 8,000 円に対し収入済額 8,000 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 27,000 円、77.1%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.1%未満である。

3 款 繰入金

調定額 154,160,291 円に対し収入済額 154,160,291 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 15,326,174 円、11.0%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 33.7%である。

- ・事務費繰入金 16,320 千円
- ・保険基盤安定繰入金 137,840 千円

## 款別歳入決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構 成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
265,284,000	264,302,423	263,618,315	99.4	99.7	64.7	125,113	558,995	35,480,261	13.5
26,000	35,000	35,000	134.6	100.0	0.0	0	0	△ 27,000	△ 77.1
139,097,000	138,834,117	138,834,117	99.8	100.0	34.1	0	0	15,326,174	11.0
4,622,000	4,622,529	4,622,529	100.0	100.0	1.1	0	0	△ 2,293,490	△ 49.6
216,000	59,800	59,800	27.7	100.0	0.0	0	0	1,224,420	2047.5
409,245,000	407,853,869	407,169,761	99.5	99.8	100.0	125,113	558,995	49,710,365	12.2

### 4 款 繰越金

調定額 2,329,039 円に対し収入済額 2,329,039 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 2,293,490 円、49.6%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.5%である。

### 5 款 諸収入

調定額 1,284,220 円に対し収入済額 1,284,220 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 1,224,420 円、2047.5%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.3%である。

## 後期高齢者医療特別会計

区 分	令和6年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
総 務 費	2,077,000	1,470,097	70.8	0.3	0	606,903
後期高齢者医療広域連 合 納 付 金	451,737,000	450,513,080	99.7	99.6	0	1,223,920
諸 支 出 金	383,000	351,300	91.7	0.1	0	31,700
合 計	454,197,000	452,334,477	99.6	100.0	0	1,862,523

### (2) 歳 出

令和6年度歳出決算は、予算現額 454,197,000 円に対して、支出済額 452,334,477 円で、執行率 99.6%、不用額 1,862,523 円となっている。前年度比較において 47,493,755 円（11.7%）増加している。

人件費を除く主な執行状況は次のとおりである。

#### 1 款 総務費

予算現額 2,077,000 円に対して、支出済額 1,470,097 円で、執行率 70.8%、不用額 606,903 円となっている。前年度比較において 821,378 円（126.6%）増加している。

#### 2 款 後期高齢者医療広域連合納付金

予算現額 451,737,000 円に対して、支出済額 450,513,080 円で、執行率 99.7%、不用額 1,223,920 円となっている。前年度比較において 46,374,977 円（11.5%）増加している。

- ・後期高齢者医療広域連合保険料負担金 296,927 千円
- ・後期高齢者医療広域連合保険基盤安定負担金 137,840 千円
- ・後期高齢者医療広域連合事務費負担金 15,746 千円

#### 3 款 諸支出金

予算現額 383,000 円に対して、支出済額 351,300 円で、執行率 91.7%、不用額 31,700 円となっている。前年度比較において 297,400 円（551.8%）増加している。

# 款別歳出決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
937,000	648,719	69.2	0.2	0	288,281	821,378	126.6
408,093,000	404,138,103	99.0	99.8	0	3,954,897	46,374,977	11.5
215,000	53,900	25.1	0.0	0	161,100	297,400	551.8
409,245,000	404,840,722	98.9	100.0	0	4,404,278	47,493,755	11.7

## 交通船特別会計款別

区 分	令和6年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
使用料及び手数料	46,779,000	42,554,217	42,554,217	91.0	100.0	29.8	0	0
繰 入 金	68,706,000	68,706,000	68,706,000	100.0	100.0	48.1	0	0
繰 越 金	16,222,000	16,222,166	16,222,166	100.0	100.0	11.4	0	0
財 産 収 入	1,000	0	0	0.0	-	0.0	0	0
諸 収 入	15,758,000	15,349,933	15,349,933	97.4	100.0	10.7	0	0
合 計	147,466,000	142,832,316	142,832,316	96.9	100.0	100.0	0	0

## 交通船特別会計

### 1. 決算の概要

令和6年度における決算は、歳入総額 142,832,316 円、歳出総額 141,007,101 円で、歳入歳出差引残額 1,825,215 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 1,825,215 円の黒字となっている。

#### (1) 歳 入

令和6年度歳入決算は予算現額 147,466,000 円、調定額 142,832,316 円に対し収入済額 142,832,316 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 14,570,777 円、11.4%の増加となっている。不納欠損額はない。

#### 1 款 使用料及び手数料

調定額 42,554,217 円に対し収入済額 42,554,217 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 1,626,253 円、3.7%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 29.8%である。

#### 2 款 繰入金

調定額 68,706,000 円に対し収入済額 68,706,000 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 8,110,000 円、13.4%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 48.1%である。

・一般会計繰入金 68,706 千円

#### 3 款 繰越金

調定額 16,222,166 円に対し収入済額 16,222,166 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 7,864,844 円、94.1%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 11.4%である。

#### 5 款 諸収入

調定額 15,349,933 円に対し収入済額 15,349,933 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 222,186 円、1.5%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 10.7%である。

歳入決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構 成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
47,730,000	44,180,470	44,180,470	92.6	100.0	34.4	0	0	△ 1,626,253	△ 3.7
68,622,000	60,596,000	60,596,000	88.3	100.0	47.2	0	0	8,110,000	13.4
8,357,000	8,357,322	8,357,322	100.0	100.0	6.5	0	0	7,864,844	94.1
1,000	0	0	0.0	-	0.0	0	0	0	-
13,863,000	15,127,747	15,127,747	109.1	100.0	11.8	0	0	222,186	1.5
138,573,000	128,261,539	128,261,539	92.6	100.0	100.0	0	0	14,570,777	11.4

## 交通船特別会計

区 分	令和6年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
事業費	146,966,000	141,007,101	95.9	100.0	0	5,958,899
予備費	500,000	0	0.0	0.0	0	500,000
合 計	147,466,000	141,007,101	95.6	100.0	0	6,458,899

### (2) 歳 出

令和6年度歳出決算は、予算現額 147,466,000 円に対して、支出済額 141,007,101 円で、執行率 95.6%、不用額 6,458,899 円となっている。前年度比較において 28,967,728 円 (25.9%) 増加している。

#### 1 款 事業費

予算現額 146,966,000 円に対して、支出済額 141,007,101 円で、執行率 95.9%、不用額 5,958,899 円となっている。前年度比較において 28,967,728 円 (25.9%) 増加している。

- ・施設修繕費

55,301 千円
- ・動力費

20,416 千円

# 款別歳出決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増 減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
130,216,000	112,039,373	86.0	100.0	0	18,176,627	28,967,728	25.9
8,357,000	0	0.0	0.0	0	8,357,000	0	-
138,573,000	112,039,373	80.9	100.0	0	26,533,627	28,967,728	25.9

## 介護保険特別会計（保険事業勘定）

区分	令和6年度							
	予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
保険料	604,232,000	628,915,628	625,122,729	103.5	99.4	16.4	375,196	3,417,703
使用料及び手数料	25,000	57,400	57,400	229.6	100.0	0.0	0	0
国庫支出金	1,020,036,000	991,113,486	991,113,486	97.2	100.0	26.0	0	0
支払基金交付金	1,017,204,000	987,112,958	987,112,958	97.0	100.0	25.9	0	0
県支出金	565,873,000	557,471,936	557,471,936	98.5	100.0	14.6	0	0
財産収入	327,000	327,802	327,802	100.2	100.0	0.0	0	0
繰入金	598,057,000	562,679,386	562,679,386	94.1	100.0	14.8	0	0
繰越金	87,985,000	87,985,631	87,985,631	100.0	100.0	2.3	0	0
諸収入	5,000	144,804	144,804	2896.1	100.0	0.0	0	0
合計	3,893,744,000	3,815,809,031	3,812,016,132	97.9	99.9	100.0	375,196	3,417,703

## 介護保険特別会計（保険事業勘定）

### 1. 決算の概要

令和6年度における決算は、歳入総額 3,812,016,132 円、歳出総額 3,745,979,542 円で、歳入歳出差引残額 66,036,590 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 66,036,590 円の黒字となっている。

#### (1) 歳入

令和6年度歳入決算は、予算現額 3,893,744,000 円、調定額 3,815,809,031 円に対し収入済額 3,812,016,132 円で、収入率 99.9%、対前年度比で 70,269,768 円、1.9% の増加となっている。不納欠損額 375,196 円を計上し収入未済額は 3,417,703 円となっている。

保険料の内訳は、現年度分調定額 624,746,870 円に対し、収入済額 623,805,920 円で収入率 99.8%、滞納繰越分調定額 4,168,758 円に対し、収入済額 1,316,809 円で収入率 31.6%となっている。

款別歳入決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構 成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
611,777,000	626,870,740	622,651,275	101.8	99.3	16.6	322,857	3,896,608	2,471,454	0.4
179,000	121,772	121,772	68.0	100.0	0.0	0	0	△ 64,372	△ 52.9
975,781,000	966,135,071	966,135,071	99.0	100.0	25.8	0	0	24,978,415	2.6
969,545,000	926,214,000	926,214,000	95.5	100.0	24.8	0	0	60,898,958	6.6
541,957,000	534,568,795	534,568,795	98.6	100.0	14.3	0	0	22,903,141	4.3
4,000	5,081	5,081	127.0	100.0	0.0	0	0	322,721	6351.5
571,935,000	546,818,791	546,818,791	95.6	100.0	14.6	0	0	15,860,595	2.9
145,116,000	145,116,400	145,116,400	100.0	100.0	3.9	0	0	△ 57,130,769	△ 39.4
5,000	115,179	115,179	2303.6	100.0	0.0	0	0	29,625	25.7
3,816,299,000	3,745,965,829	3,741,746,364	98.0	99.9	100.0	322,857	3,896,608	70,269,768	1.9

## 介護保険特別会計（保険事業勘定）

区 分	令和6年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
総 務 費	55,500,000	47,551,333	85.7	1.3	0	7,948,667
保 険 給 付 費	3,661,127,000	3,538,789,557	96.7	94.5	0	122,337,443
財政安定化基金拠出金	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
地 域 支 援 事 業 費	133,063,000	117,635,636	88.4	3.1	0	15,427,364
保 健 福 祉 事 業 費	3,376,000	1,608,733	47.7	0.0	0	1,767,267
基 金 積 立 金	328,000	327,802	99.9	0.0	0	198
公 債 費	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
諸 支 出 金	40,348,000	40,066,481	99.3	1.1	0	281,519
合 計	3,893,744,000	3,745,979,542	96.2	100.0	0	147,764,458

### （2）歳 出

令和6年度歳出決算は、予算現額 3,893,744,000 円に対して、支出済額 3,745,979,542 円で、執行率 96.2%、不用額 147,764,458 円となっている。前年度比較において 92,218,809 円（2.5%）増加している。

#### 1 款 総務費

予算現額 55,500,000 円に対して、支出済額 47,551,333 円で、執行率 85.7%、不用額 7,948,667 円となっている。前年度比較において 1,791,724 円（3.6%）減少している。

- ・ 認定調査事業 32,903 千円

#### 2 款 保険給付費

予算現額 3,661,127,000 円に対して、支出済額 3,538,789,557 円で、執行率 96.7%、不用額 122,337,443 円となっている。前年度比較において 174,604,529 円（5.2%）増加している。

- ・ 施設介護サービス給付費 1,568,701 千円
- ・ 居宅介護サービス給付費 826,942 千円
- ・ 地域密着型介護サービス給付費 651,593 千円

## 款別歳出決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度					前年度比較		
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
55,872,000	49,343,057	88.3	1.4	0	6,528,943	△ 1,791,724	△ 3.6
3,504,096,000	3,364,185,028	96.0	92.1	0	139,910,972	174,604,529	5.2
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	-
120,163,000	104,942,297	87.3	2.9	0	15,220,703	12,693,339	12.1
1,250,000	603,305	48.3	0.0	0	646,695	1,005,428	166.7
86,212,000	86,207,081	100.0	2.4	0	4,919	△ 85,879,279	△ 99.6
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	-
48,704,000	48,479,965	99.5	1.3	0	224,035	△ 8,413,484	△ 17.4
3,816,299,000	3,653,760,733	95.7	100.0	0	162,538,267	92,218,809	2.5

### 4 款 地域支援事業費

予算現額 133,063,000 円に対して、支出済額 117,635,636 円で、執行率 88.4%、不用額 15,427,364 円となっている。前年度比較において 12,693,339 円 (12.1%) 増加している。

- ・ 第1号通所事業 35,563 千円
- ・ 生活支援コーディネート事業 9,018 千円
- ・ 認知症初期集中支援事業 4,152 千円

### 5 款 保健福祉事業費

予算現額 3,376,000 円に対して、支出済額 1,608,733 円で、執行率 47.7%、不用額 1,767,267 円となっている。前年度比較において 1,005,428 円 (166.7%) 増加している。

### 6 款 基金積立金

予算現額 328,000 円に対して、支出済額 327,802 円で、執行率 99.9%、不用額 198 円となっている。前年度比較において 85,879,279 円 (99.6%) 減少している。

### 8 款 諸支出金

予算現額 40,348,000 円に対して、支出済額 40,066,481 円で、執行率 99.3%、不用額 281,519 円となっている。前年度比較において 8,413,484 円 (17.4%) 減少している。

## 介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

区分	令和6年度							
	予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
サービス収入	16,236,000	17,027,920	17,027,920	104.9	100.0	91.1	0	0
繰越金	1,671,000	1,671,730	1,671,730	100.0	100.0	8.9	0	0
諸収入	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	17,907,000	18,699,650	18,699,650	104.4	100.0	100.0	0	0

## 介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

### 1. 決算の概要

令和6年度における決算は、歳入総額 18,699,650 円、歳出総額 15,575,498 円で、歳入歳出差引残額 3,124,152 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 3,124,152 円の黒字となっている。

#### (1) 歳入

令和6年度歳入決算は、予算現額 17,907,000 円、調定額 18,699,650 円に対し収入済額 18,699,650 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 429,091 円、2.3%の増加となっている。不納欠損額はない。

款別歳入決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
16,917,000	17,097,420	17,097,420	101.1	100.0	93.6	0	0	△ 69,500	△ 0.4
1,064,000	1,064,437	1,064,437	100.0	100.0	5.8	0	0	607,293	57.1
0	108,702	108,702	—	100.0	0.6	0	0	皆減	皆減
17,981,000	18,270,559	18,270,559	101.6	100.0	100.0	0	0	429,091	2.3

## 介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

区 分	令和6年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
総 務 費	1,054,000	915,950	86.9	5.9	0	138,050
事 業 費	16,853,000	14,659,548	87.0	94.1	0	2,193,452
合 計	17,907,000	15,575,498	87.0	100.0	0	2,331,502

### （2）歳 出

令和6年度歳出決算は予算現額17,907,000円に対して、支出済額15,575,498円で、執行率87.0%、不用額2,331,502円となっている。前年度比較において1,023,331円（6.2%）減少している。

人件費を除く主な執行状況は次のとおりである。

#### 1 款 総務費

予算現額1,054,000円に対して、支出済額915,950円で、執行率86.9%、不用額138,050円となっている。前年度比較において54,468円（5.6%）減少している。

#### 2 款 事業費

予算現額16,853,000円に対して、支出済額14,659,548円で、執行率87.0%、不用額2,193,452円となっている。前年度比較において968,863円（6.2%）減少している。

- ・介護予防サービス等事業費 14,660千円

# 款別歳出決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増 減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
1,122,000	970,418	86.5	5.8	0	151,582	△ 54,468	△ 5.6
16,859,000	15,628,411	92.7	94.2	0	1,230,589	△ 968,863	△ 6.2
17,981,000	16,598,829	92.3	100.0	0	1,382,171	△ 1,023,331	△ 6.2

## 工業団地整備事業特別会計

区分	令和6年度							
	予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
県支出金	731,000	749,028	749,028	102.5	100.0	0.4	0	0
繰入金	205,736,000	205,736,000	205,736,000	100.0	100.0	98.1	0	0
繰越金	221,000	221,002	221,002	100.0	100.0	0.1	0	0
使用料及び手数料	33,000	43,300	43,300	131.2	100.0	0.0	0	0
財産収入	2,946,000	2,946,000	2,946,000	100.0	100.0	1.4	0	0
合計	209,667,000	209,695,330	209,695,330	100.0	100.0	100.0	0	0

## 工業団地整備事業特別会計

### 1. 決算の概要

令和6年度における決算は、歳入総額 209,695,330 円、歳出総額 209,665,910 円で、歳入歳出差引残額 29,420 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 29,420 円の黒字となっている。

#### (1) 歳入

令和6年度歳入決算は、予算現額 209,667,000 円、調定額 209,695,330 円に対し収入済額 209,695,330 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 2,320,856,104 円、91.7%の減少となっている。不納欠損額はない。

減少の要因は、前年度は、大島地区工業団地土地売払収入により決算額が拡大していたためである。

#### 1 款 県支出金

調定額 749,028 円に対し収入済額 749,028 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 23,691 円、3.3%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.4%である。

#### 2 款 繰入金

調定額 205,736,000 円に対し収入済額 205,736,000 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 396,910,000 円、65.9%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 98.1%である。減少の要因は前年度、大島地区工業団地整備事業に係る公債費の繰上償還にかかる財源として決算額が拡大していたためである。

#### 3 款 繰越金

調定額 221,002 円に対し収入済額 221,002 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 2,502,295 円、91.9%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.1%である。

## 款別歳入決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構 成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
725,000	725,337	725,337	100.0	100.0	0.0	0	0	23,691	3.3
602,646,000	602,646,000	602,646,000	100.0	100.0	23.8	0	0	△ 396,910,000	△ 65.9
2,723,000	2,723,297	2,723,297	100.0	100.0	0.1	0	0	△ 2,502,295	△ 91.9
—	—	—	—	—	—	0	—	皆増	皆増
1,924,456,000	1,924,456,800	1,924,456,800	100.0	100.0	76.0	—	—	△ 1,921,510,800	△ 99.8
2,530,550,000	2,530,551,434	2,530,551,434	100.0	100.0	100.0	0	0	△ 2,320,856,104	△ 91.7

### 4 款 使用料及び手数料

調定額 43,300 円に対し収入済額 43,300 円で、収入率 100.0%、新設した款であり、対前年度比で皆増である。歳入全体に占める割合は 0.1%未満である。

### 5 款 財産収入

調定額 2,946,000 円に対し収入済額 2,946,000 円で、収入率 100.0%、対前年度比で 1,921,510,800 円、99.8%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 1.4%である。

### (廃款) 市債

市債は令和 6 年度当初予算で廃款となっている。

## 工業団地整備事業特別会計

区 分	令和6年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
公 債 費	158,463,000	158,461,910	100.0	75.6	0	1,090
事 業 費	51,204,000	51,204,000	100.0	24.4	0	0
合 計	209,667,000	209,665,910	100.0	100.0	0	1,090

### (2) 歳 出

令和6年度歳出決算は予算現額 209,667,000 円に対して、支出済額 209,665,910 円で、執行率 100.0%、不用額 1,090 円となっている。前年度比較において 2,320,664,522 円 (91.7%) 減少している。

減少の要因は前年度、大島地区工業団地整備事業に係る公債費の繰上償還により決算額が拡大していたためである。

#### 1 款 公債費

予算現額 158,463,000 円に対して、支出済額 158,461,910 円で、執行率 100.0%、不用額 1,090 円となっている。前年度比較において 2,370,587,022 円 (93.7%) 減少している。

- ・市債元金償還金 157,273 千円
- ・市債利子償還金 1,189 千円

#### 2 款 事業費

予算現額 51,204,000 円に対して、支出済額 51,204,000 円で、執行率 100.0%、不用額はなし。前年度比較において 49,922,500 円 (3895.6%) 増加している。

# 款別歳出決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和5年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増 減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
2,529,050,000	2,529,048,932	100.0	99.9	0	1,068	△ 2,370,587,022	△ 93.7
1,500,000	1,281,500	85.4	0.1	0	218,500	49,922,500	3895.6
2,530,550,000	2,530,330,432	100.0	100.0	0	219,568	△ 2,320,664,522	△ 91.7



# 財産に関する調書



## 財産に関する調書

各会計における公有財産、有価証券、物品、債権及び基金に関する決算年度中における増減高並びに令和6年度末現在高は、次のとおりである。

### 一般会計

#### 1. 公有財産

##### (1) 土地及び建物

土地は、前年度と比較して 759 m<sup>2</sup>増加し、24,184,871 m<sup>2</sup>となっている。

建物の総面積は、前年度と比較して 3,054 m<sup>2</sup>減少し、304,773 m<sup>2</sup>となっている。

##### (2) 山林

山林面積は、本年度中の増減はなく、19,271,763 m<sup>2</sup>となっている。

立木については、年度中 1,072 m<sup>3</sup>の減少により、年度末で 245,551 m<sup>3</sup>の推定量となっている。

##### (3) 動産

動産については、本年度中の増減はなく、船舶 1 隻・16 総トン、浮棧橋 5 個である。

##### (4) 有価証券

有価証券については、本年度中の増減はなく、崎戸商船株式会社他 4 社の株券で、本年度末現在高は、85,726,000 円である。

##### (5) 出資による権利

出資金は、前年度と比較して 725,297 円減少し、本年度末出資残高は、財団法人長崎県国際交流協会他 17 先で 314,566,907 円となっている。

#### 2. 物品

物品は庁用車両で、前年度と比較して 2 台増加し、年度末の車両保有高は、163 台である。

#### 3. 債権

債権は、前年度と比較して 974,000 円減少し、年度末貸付現在高は 190,106,996 円となっている。

#### 4. 基金

財政調整基金等について、関係諸帳簿と照合した結果、調書の記載事項に誤りは認められなかった。

各基金の明細及び令和6年度末の現在高は次のとおりである。

基金現在高表

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減額 (債権を含む)	決算年度末現在高
財政調整基金	3,227,487,000	195,413,000	3,422,900,000
減債基金	1,091,841,000	42,519,000	1,134,360,000
地域振興基金	4,770,457,000	△ 602,106,000	4,168,351,000
社会福祉基金	2,034,953,035	76,975,000	2,111,928,035
災害弔慰金等基金	20,288,581	△ 39,712	20,248,869
生活環境整備基金	5,382,261	75	5,382,336
ふるさと水と土保全対策基金	121,875,542	△ 11,000	121,864,542
農業振興基金	186,240,235	0	186,240,235
漁業振興基金	187,577,000	△ 4,208,000	183,369,000
商工観光振興基金	50,385,765	0	50,385,765
公共住宅整備基金	17,688,757	168,213	17,856,970
合併市町村振興基金	2,889,754,000	0	2,889,754,000
教育振興基金	8,803,402	123	8,803,525
奨学資金貸付基金	119,826,000	19,910,000	139,736,000
ふるさと西海応援寄附金基金	877,692,000	303,084,000	1,180,776,000
西海市過疎地域持続的発展基金	252,798,000	28,405,000	281,203,000
西海市公共交通整備基金	36,366,208	△ 5,908,908	30,457,300
子ども夢基金	504,301,177	△ 1,057,800	503,243,377
防衛施設周辺公園管理基金	20,838,041	5,485,670	26,323,711
西海地区スクールバス運行事業基金	40,040,874	20,032,032	60,072,906
青少年スポーツ振興基金	253,478,501	△ 76,658,000	176,820,501
林業振興基金	26,802,867	7,527,772	34,330,639
防衛施設周辺自治会運営支援事業基金	7,972,555	6,686,157	14,658,712
庁舎建設整備基金	600,000,000	200,006,972	800,006,972
長崎県証紙購買基金	1,000,000	△ 1,000,000	0
土地開発基金	285,498,983	3,981	285,502,964
計	17,639,348,784	215,227,575	17,854,576,359

貸付基金

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減額 (債権を含む)	決算年度末現在高
奨学資金貸付基金(基金の額)	119,826,000	19,910,000	139,736,000
備 考	貸付額 90,369,600円 現金残額 49,366,400円		

(単位：円)

寄附金

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減額 (債権を含む)	決算年度末現在高
ふるさと西海応援寄附金基金(基金の額)	877,692,000	303,084,000	1,180,776,000
計	877,692,000	303,084,000	1,180,776,000

土地開発基金

(単位：円・㎡)

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減額 (債権を含む)	決算年度末現在高
不動産	宅 地	22,246.20㎡	0.00㎡	22,246.20㎡
	田 畑	15,526.00㎡	0.00㎡	15,526.00㎡
	山 林	494,542.00㎡	0.00㎡	494,542.00㎡
	その他	26,999.00㎡	0.00㎡	26,999.00㎡
土地開発基金(預金・債権)		285,498,983	3,981	285,502,964

## 国民健康保険特別会計（事業勘定）

### 1. 基金

#### 基金現在高表

（単位：円）

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減額 (債権を含む)	決算年度末現在高
国民健康保険財政調整基金	478,563,000	△ 76,171,000	402,392,000
国民健康保険出産費資金貸付基金(基金の額)	4,000,000	0	4,000,000
国民健康保険高額療養費貸付基金(基金の額)	15,000,000	0	15,000,000
計	497,563,000	△ 76,171,000	421,392,000

### 貸付基金

（単位：円）

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減額 (債権を含む)	決算年度末現在高
国民健康保険出産費資金貸付基金(基金の額)	4,000,000	0	4,000,000
備 考	貸付額 0円	現金残額 4,000,000円	

（単位：円）

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減額 (債権を含む)	決算年度末現在高
国民健康保険高額療養費貸付基金(基金の額)	15,000,000	0	15,000,000
備 考	貸付額 0円	現金残額 15,000,000	

## 国民健康保険特別会計（直診勘定）

### 1. 公有財産

#### (1) 土地及び建物

土地は、本年度中の増減はなく、2,182.22 m<sup>2</sup>となっている。

建物についても、本年度中の増減はなく、1,007.15 m<sup>2</sup>となっている。

### 2. 物品

物品については、自動蒸留水製造装置が1台減少している。

## 交通船特別会計

### 1. 公有財産

#### (1) 動産

動産は、本年度中の増減はなく、船舶1隻(99総トン)である。

#### (2) 無体財産権

無体財産権は、本年度中の増減はなく、航路権1件である。

### 2. 基金

#### 基金現在高表

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減額 (債権を含む)	決算年度末現在高
交通船整備基金	2,054	0	2,054
計	2,054	0	2,054

## 介護保険特別会計(保険事業勘定)

### 1. 基金

#### 基金現在高表

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減額 (債権を含む)	決算年度末現在高
介護給付費準備基金	600,737,832	△ 8,585,198	592,152,634
計	600,737,832	△ 8,585,198	592,152,634

## 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)

### 1. 物品

物品は庁用車両で、リース方式への切り替えのため全5台が減少し、年度末時点で本特別会計での保有はない。

区分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
軽貨物	3台	△ 3台	0台
軽乗用	2台	△ 2台	0台
合計	5台	△ 5台	0台

## 工業団地整備事業特別会計

### 1. 公有財産

#### (1) 土地及び建物

土地は前年度と比較して1,125.14㎡減少し、108,591.71㎡となっている。

#### (2) 動産(行政財産)

動産は、本年度中の増減はなく、配水管(H I V P φ 150)が179.6m、配水管(H I V P φ 100)が251.6m、配水管(H I V P φ 75)が240.3m、給水管(H P P φ 50)が122.3m、給水管(H P P φ 25)が17.5mとなっている。



む す び



## む す び

令和6年度の地方財政の規模は93兆6,388億円（前年度比1.7%、1兆6,038億円増）となっており、歳出のうち公債費を除いた地方の政策的経費である地方一般歳出は78兆4,568億円（前年度比2.6%、1兆9,729億円増）となっている。

歳入では、地方税が42兆7,329億円（前年度比0.3%、1,422億円減）、地方譲与税が2兆7,293億円（前年度比5.0%、1,292億円増）、地方特例交付金が1兆1,320億円（前年度比421.9%、9,151億円増）となっている。

また、地方交付税が18兆6,671億円（前年度比1.7%、3,060億円増）、地方債が6兆3,103億円（前年度比7.4%、5,060億円減）となっている。

この結果、地方一般財源総額は、62兆7,180億円（前年度比0.9%、5,545億円増）となっている。

歳出では、一般行政経費が43兆6,893億円（前年度比3.8%、1兆6,052億円増）となっており、公債費が10兆8,961億円（前年度比3.2%、3,653億円減）となっている。

投資的経費は、直轄・補助事業が5兆6,259億円（前年度比0.6%、335億円減）、地方単独事業が6兆3,637億円（前年度比0.8%、500億円増）で、総額11兆9,896億円となっている。

このような財政状況のもと全国の自治体は、人口減少と超高齢化社会への対応、老朽インフラの維持補修とデジタル化の推進、自然災害への備えなど直面する多様な課題に取り組んでいる。

本市においては「第2次西海市総合計画」の後期基本計画に基づき、持続可能なまちづくりに向けた施策を盛り込み、人口減少の克服、雇用創出、定住促進、産業振興、教育の充実等の各目標を掲げ、これらの実現に向け各種事業に取り組んでいる。

令和6年度は第2期杉澤市政3年目として、本格予算を執行する節目の年度である。「資源・産業・ひと～飛躍の時代（とき）」を市政運営の方針とし、政策テーマに「脱炭素社会に向かうまち」をはじめとした「7つの柱」を掲げた予算編成のもと、脱炭素社会構築の推進、救急医療確保対策、農業基盤整備事業、自治体DXの推進などを実施している。

一般会計の決算は、工業団地整備事業特別会計への繰出金の減や、災害による大規模な被害が発生しなかったことなどから、令和5年度に比べ減額となっている。

以上を踏まえ、令和6年度決算審査を実施した。

令和6年度一般会計の決算額は、歳入23,286,514,145円、歳出22,149,886,365円で歳入歳出差引残額1,136,627,780円、翌年度へ繰越すべき財源252,489,000円を差し引いた実質収支額は884,138,780円の黒字となっている。前年度と比べ、歳入については、720,386,238円、3.0%減となり、歳出については、714,883,624円、3.1%減となっている。

歳入の款別で主なものについて、国庫支出金は前年度比316,055千円、9.9%減となっている。これは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や学校施設環境改善交付金などの減額によるものである。

歳入の13.4%を占める市税は、前年度比4,227千円、0.1%減となっている。これは、個人市民税の定額減税の実施や固定資産税の評価替え年度による評価額の減によるものであるが、本来これらの影響はおよそ126,000千円あまりの減額に反映されるところ、給与所得の増による課税額の増加や法人市民税の増額により相殺され微減にとどまっている。

なお、定額減税による減収分は、地方特例交付金で「定額減税減収補填特例交付金」96,487千円が補填されている。

歳入の38.7%を占める地方交付税は、前年度比135,522千円、1.5%増となっている。

繰入金では、事業の財源として財政調整基金や地域振興基金などの取り崩しを行ったことで、前年度比194,694千円、16.6%増となっている。

市債は、長崎県から配分される過疎対策事業債の協議可能額が減少したことや、臨時財政対策債の借入額が減少したことなどにより、前年度比405,800千円、23.6%減となっている。

歳出の款別で主なものについて、総務費は、前年度比20,263千円、0.4%減となった。これは、庁舎建設整備基金の積立てを増額したものの、前年度に工業団地整備事業特別会計に支出した繰出金が本年度は縮小したことなどによるものである。

民生費は、前年度比103,829千円、1.5%減となった。これは、住民税非課税世帯給付金事業を実施したものの、電力・ガス・食料品等価格高騰支援事業の減などによるものである。

衛生費は、前年度比152,935千円、5.4%減となった。これは、新型コロナウイルス予防接種事業の減などによるものである。

農林水産業費は、前年度比104,591千円、13.0%増となった。これは、畜産クラスター構築事業や西彼杵広域農道地すべり対策事業を実施したことなどによるものである。

商工費は、前年度比46,771千円、11.4%増となった。これは、プレミアム付商品券発行支援事業の実施などによるものである。

土木費は、前年度比77,994千円、7.2%増となった。これは、市道雪浦平坦線橋梁撤去事業の事業費増などによるものである。

消防費は、前年度と同程度（前年度比1,816千円、0.2%増）となった。

教育費は、前年度比447,389千円、19.2%減となった。これは、大瀬戸中学校

施設等整備事業の減などによるものである。

災害復旧費は、前年度比 329,025 千円、91.6%減となった。これは、災害による大規模な被害が発生しなかったことによるものである。

公債費は、前年度比 99,316 千円、4.4%増となった。これは、元利償還金の増加によるものである。

特別会計 7 事業の決算総額は歳入 8,512,491,341 円、歳出 8,317,375,345 円で歳入歳出差引額の総額は 195,115,996 円で、翌年度に繰越すべき財源 0 円を差し引いた実質収支額は 195,115,996 円となっている。

今回の決算審査では、各課で実施している事業全般に加え、成果説明書等に記載された事業の中から、先に述べた「7つの柱」に沿って特に重要と思われる事業を対象として、適正な事務が行われているかについて集中的に審査を行った。あわせて地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、健全化判断比率及びその算定の基礎となる書類の審査を行った。

以下の点を指摘事項とする。

#### (1) 財政運営について

令和 6 年度の一般会計において、期末市債残高は 18,243,441 千円となり、前年度末に比べ 985,762 千円、5.1%減少している。

「財政規模のうちどれぐらいの割合の一般財源が公債費に充てられたか」をあらわす実質公債費比率（小さいほど好ましい）は前年度の 0.7%から 1.7%となっている。

「財政運営の弾力性（余裕度）」をあらわす経常収支比率（小さいほど好ましい）は前年度 87.8%に対して 91.0%となっており、令和 2 年度から上昇を続けている。

実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率（いずれも無し、または小さいほど好ましい）は、いずれもない。

年度末の基金残高は、前年度末に比べ 216,224 千円、1.2%増加し 17,569,074 千円となっている。

これらの指標についてはおおむね良好であり、財源確保と効率的な事業の執行による歳出削減に努めてきたこれまでの財政運営が成果を上げているものと判断されるが、今後も人口減少による地方交付税の減少や、物価高騰等による各種経費の増加が見込まれ、財政の硬直化に留意した運営が必要である。

## 財政状況の推移（決算統計による）

（単位：千円）

区 分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
実質公債費比率	1.7 %	0.7 %	△ 0.9 %	△ 1.8 %	△ 2.8 %
公債費比率	- %	- %	- %	- %	- %
債務負担行為を含む公債費比率	- %	- %	- %	- %	- %
起債制限比率	- %	- %	- %	- %	- %
基金現在高	17,569,074	17,352,850	17,329,382	16,431,927	15,748,550
地方債現在高	18,243,441	19,229,203	19,719,363	19,801,527	20,616,442
財政力指数	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29
経常収支比率	91.0 %	87.8 %	85.6 %	83.9 %	83.6 %
実質収支比率	7.23 %	8.14 %	8.73 %	9.54 %	6.79 %

※基金現在高は土地開発基金及び長崎県証紙購買基金を除く

自治体の財政的な自立度を表す財政力指数は、令和2年度から横ばいである。しかし、近年の賃金上昇基調による給与所得者の所得増や、法人市民税の増加などの要因で市税収入は増加の方向で推移しており（令和6年度は定額減税の影響などにより微減）、財政的な自立度向上への動きがみられる。

この流れを継続させるためには雇用の確保、安心できる居住環境の創出、地場企業の育成など、市税の増収に繋がる政策の展開が求められており、第2次西海市総合計画の後期計画の策定に当たり実施した市民アンケートにおいても、優先的に取り組むべき重点分野として「医療体制の充実」や「雇用環境の充実」などがあげられている。

これに対応する事業として「医療機関新規開設・承継補助事業（繰越）」により救急クリニックが開業し、併せて「救急医療確保対策事業」による運営支援も行われ、安心して住むことのできるまちづくりに大きく寄与している。

一方、歳出面においては、人件費や物価高騰による行政コストの上昇、道路・橋梁や上下水道をはじめとする各種インフラの整備・更新が控えていると共に、整理・統廃合を要する公共施設も多数有することから、今後も多額の支出が見込まれ、義務的経費が裁量的経費を圧迫することが予想される。

D Xの考え方を活かした事務事業の効率化や、市民の理解を得ながらの管理経費の圧縮など、歳入に見合った歳出構造への転換が課題と言える。

## (2) 予算の執行

令和6年度は、第2期杉澤市政3年目の本格予算を執行する節目の年度であるなか、「資源・産業・ひと～飛躍の時代（とき）」を市政運営の方針とし、政策テーマに「7つの柱」を掲げ、様々な事業を実施している。

### 1) 脱炭素社会に向かうまち西海市

「脱炭素社会に向かうまち創造事業（地方創生推進タイプ）」では、啓発イベントの実施のほか高校生向け出前講座を開催し、脱炭素社会構築への意識変革、行動変容を促す取り組みがなされている。

「未来につなぐ西海の森づくり事業」では、本市面積の過半数を占める森林を活かした「さいかい森林サービス産業」の創出を目指す取り組みとして、間伐等の森林整備のほか「木の駅西海の森」活動や「クアオルト健康ウォーキング」を実施している。

### 2) 地域の力が生きる産業のまち西海市

「農業競争力強化基盤整備事業」による白崎、小迎、面高、太田和、天久保の5地区の取り組みで、各主要作物の生産力強化と次代の担い手が継承できる効率的な農業生産基盤づくりに取り組んでいる。

「森林・林業戦略プランブラッシュアップ事業 デジ田交付金（地方創生推進タイプ）」では、タイニーハウスデザインコンテストの実施、受賞デザインを基にした展示ハウスの建築を行ったほか、ドローンを活用して従来の手法より高精度・高効率な森林資源量調査を実施している。

「漁業と漁村を支える人づくり事業」では、漁業研修生並びに指導者の支援による研修生の技術向上及び新規漁業就業者の生活支援による定着を図る取り組みがなされている。

「特産品ブランド力強化対策事業」では、大阪での継続的な販売会の開催により西海ブランドの認知度向上を図っている。またゆで干し大根に加え、切り干し大根の販路開拓を進めており、流通・消費サイドから大根産地としてのブランド力強化の継続・発展を図っている。

### 3) 堅固な防災のまち西海市

「西彼杵広域農道地すべり対策事業」「市道雪浦平坦線橋梁撤去事業」などにより、防災力の向上が進められている。

### 4) 地域資源がつくるまち西海市

「地域おこし協力隊推進事業」では4つのテーマに着任している隊員4名への活動支援を行っている。また、任期が終了した隊員が事業を継続して居住し続けるための定着支援を実施している。

#### 5) 教育・子育てのまち西海市

「市内高等学校魅力向上支援事業」では、魅力ある学校づくり支援事業補助金により各高校の特色ある活動を支援したほか、市内高等学校入学支援事業補助金、市内高等学校大学進学応援事業補助金により、保護者の負担軽減を図っている。スポーツ専門指導員の配置による知名度向上もあり、市内3校の入学人数が若干増加している。

「教育支援センター運営事業」では、前年度に新たに開設した教室の運営も始まり、各指導員、スクールソーシャルワーカー、教員、保護者間での相談支援により、通学困難者の状況改善、家庭での引きこもり解消に取り組んでいる。

#### 6) 医療・福祉のまち西海市

「医療機関新規開設・承継補助事業(繰越)」により救急クリニックが開業し、「救急医療確保対策事業」での運営支援により、市内完結型の救急医療体制の充実が実現している。

#### 7) 「しま」が元気なまち西海市

「松島地区公共交通空白地有償運送支援事業」では、既存交通事業者の島内からの完全撤退に際し、島民で組織する団体による公共交通空白地有償運送事業への路線引き継ぎの支援を行い、これを機に島内周回路線の実現・ダイヤの見直しが行われ、利便性が向上している。

#### 8) その他

市民の関心が高いと思われる事業について、今後の審査に活かすため現地調査を行った。

「最終処分場整備事業」関連では、大瀬戸最終処分場を現地調査し、搬入物の状況や延命化工事の予定、搬入可能年数の見通しなどについて確認した。

「旧長崎オランダ村Cゾーン建物解体事業」関連では、旧長崎オランダ村Cゾーンの解体予定区域を現地調査し、事業の進捗状況及び今後の取組みについて確認した。

今後も諸情勢の変化に敏感に対応した事業実施を行い、適時的確な予算執行に努められたい。

### (3) その他所感

職員の業務への取組みとして、歳入における市税の徴収率が県内13市でトップレベルとなっている。これは電子的な納付方法の拡充などの施策に加え、滞納発生の抑制など日頃の地道な業務遂行の成果であり、財源確保の要としての真摯な取り組みを高く評価する。

歳出においては、(2)「予算の執行」で述べた各事業で、限られた財源・人員・

期間のなかで知恵を絞り、足を延ばし、市民や関係者の声を聞き、課題の解決に向けて真摯に業務を遂行している姿がうかがえた。

今回の決算審査において取り上げなかった事務事業についても、前述のような取り組み姿勢であると推測しており、今後も職員一人ひとりが真摯な姿勢、使命感をもって業務に取り組み、西海市勢発展の原動力としての活躍を期待したい。

最後に、今回の決算審査で指摘した項目については、常に留意され今後の業務に生かされるよう要望し決算審査の結びとする。